

フィリピン国立
航海技術訓練所研修センター
評価調査団報告書

平成元年 8 月

国際協力事業団
社会開発協力部

社協二

JR

89-009

国際協力事業団

20170

20170

JICA LIBRARY



1078222[5]

序 文

近年、各国の海運界では、船舶の安全運航、安全規準に対する知識及び技能の取得の必要性が高まってきており、その条件に適合しない船員は外航船の乗船が困難になる状況に直面している。このような状況の中、フィリピン国においては、多数のフィリピン人船員労働力を外国船に供給しており、船員に対する船舶運航技術のレベルアップを図ることが焦眉の急とされている。

このため、フィリピン政府は、1978年5月1日発令の大統領令第1369号により、船員の再教育機関として、国立航海技術訓練所（National Maritime Polytechnic）を設立し、特別技能教育を実施してきたが、STCW条約等に規定された知識及び技能を修得せしめるための教育を行うには、施設、機材及び教育スタッフが十分に整備されていないことから、フィリピン政府は、本訓練所の拡充計画を策定し、その実施について、我が国に対し無償資金協力及び技術協力を要請してきた。

これを受けて、我が国は昭和60年6月13日から4年間にわたり国立航海技術訓練所研修センターに対するプロジェクト協力を実施してきた。

今般、過去4年間にわたる技術協力の進捗状況を確認してプロジェクトの完成度等について評価を行うとともに、協力の終了または継続の最終的な決定を行うことを目的として、平成元年4月10日から4月20日までの11日間、運輸省航海訓練所航海科長・大杉 勇氏を団長とするエバリュエーション調査団を派遣した。

本報告書は、同調査団の現地における調査・協議結果をとりまとめたものである。

最後に、今回の調査の任にあられた団員各位並びに本調査にご協力いただいた外務省、運輸省及び在フィリピン日本大使館、その他関係機関の方々に対し、深甚の謝意を表する次第である。

平成元年 8 月

国際協力事業団

理事 玉 光 弘 明

目 次

序 文

1. 概 説	1
1-1 調査団派遣に至る経緯	1
1-2 調査団員	1
1-3 日程、面談者、協議事項	2
1-4 主な協議内容	3
1-5 NMP 臨時理事会（BOT）会議	4
1-6 ミニッツ署名に至る経緯	4
1-7 ミニッツ署名（付、ミニッツ）	6
2. 我が国協力実績	13
2-1 主な施設、機材	13
2-2 専門家の派遣	14
2-3 受入れ研修員	15
2-4 調査団の派遣	17
3. NMP の運営体制、予算	19
3-1 運営体制	19
3-2 予 算	19
4. 教育・訓練	20
4-1 概 況	20
4-2 コースの開設状況	21
4-3 教育資機材の状況	22
4-4 受講者実績	22
4-5 教官（カウンターパート）の配置状況	23
4-6 専門家派遣状況	24
5. 1990 年以降の協力問題	25
6. 附属資料	45

1. 概 説

1-1 調査団派遣に至る経緯

1-1-1 本件技術協力プロジェクトは、1985年6月13日 R/D (Record of Discussion) 署名により4年間の協力を開始し、1989年6月12日をもって当初の協力期間を終了することとなる。

1-1-2 フィリピン国立航海技術訓練所 (NMP: National Maritime Polytechnic) における訓練コースの開講は、当初各コース別に1987年4月から1989年4月にかけて逐次開講していく計画であったが、比国側の強い要請に基づき、各コース一律に1986年7月に前倒しにする形で試行的に開講したが、訓練生の数は当初計画を大幅に下回る結果となった。

1-1-3 かかる状況を改善すべく、1987年以降、派遣専門家、各種調査団の努力により、原因を分析し、適切な措置をとるべく比国側と協議し、マーケティング活動の強化、訓練コースの見直し等の措置を講じてきたところ、年ごとに訓練生の増加をみるに至っている。

1-1-4 今般、当初設定した協力期間の終了を目前に控え、これまでの技術移転達成度、訓練実績改善策の実施状況、今後の見通し、我が国供与施設、機材の使用状況等を総合的に調査し、併せて、当初協力期間の終了後の対応(延長の可能性を含む)を策定すべく、本件調査団を派遣することとなった。

1-2 調査団員

- (1) 大杉 勇 (総 括) 運輸省航海訓練所航海科長
- (2) 宮永正二郎 (組織・体制) 運輸省国際運輸・観光局国際協力官
- (3) 富倉 邦彦 (教育・訓練) 運輸省海上技術安全局海技試験官
- (4) 遠藤 賢司 (協力政策) 外務省経済協力局技術協力課事務官
- (5) 橋本 明彦 (計画管理) 国際協力事業団社会開発協力部海外センター課長

1-3 日程、面談者、協議事項

日順	月日	曜	行	程	調	査	内	容	主	要	面	談	者	主	な	協	議	事	項
1	4/10	月	成田	→マニラ	AM PM	移動(JL-741) JICAフィリピン事務所 在比日本大使館表敬			宮本所長・小沢所員 八木一等書記官・経済班				NMPのプロジェクト経緯、周辺事情及び事務所対応状況説明等						
2	11	火	マニラ	市	AM PM	調査事前打合せ NMP表敬 JICA事務所主催夕食会			大谷リーダー ピメントル校長 宮本所長・小沢所員			NMPの現状把握及び調査資料の説明 NMPプロジェクト総括説明							
3	12	水	マニラ	市	AM PM	MARINA表敬・協議 POEA表敬・協議 NMP校長との懇談会			ソアソン局長ピライ部長 シダヤオ副長官パロモ部長 ピメントル校長			NMPへの協力依頼及びMC#41-Aの状況説明 内航船員へのSTCW訓練義務比国海運事情 外国船への雇用需要増加の説明							
4	13	木	マニラ	・ガーデン マニラ→タクロバン	AM PM	特別BOTミーティング 移動(PR193)			シダヤオ副長官BOT理事			NMPプロジェクト評価及び今後の対応(新規コース開設提案説明等)							
5	14	金	NMPTC		AM PM	サイト訓練施設調査 NMPとの協議(1) C/Pとの懇談会			C/P及び専門家 管理要員及びC/P			C/P採用・定着、施設管理・維持、インフラ整備状況等							
6	15	土	NMPTC		AM PM	NMPとの協議(2) タクロバン市内事情視察 移動(PR192)			C/P及びNMP幹部			C/Pによる問題提起及び対応案の聴取							
7	16	日	マニラ	市		資料整理													
8	17	月	マニラ	市 (NMP)	AM PM	NMPとの協議 "OWWA奨学制度の説明 ミニッツ"			ピメントル校長 アントニオ広報部長			ミニッツ案、職員採用計画							
9	18	火	マニラ	市 (シェラトン)	AM PM	ミニッツ協議			NEDA代表 POEAパロモ部長										
10	19	水	マニラ	市	AM PM	大使館・JICA調査報告 ミニッツ署名(DOLE) OWWA(MOA)署名 比国政府関係者との懇談会			八木書記官・宮本所長 ドリロン長官 サルミネント局長 BOTメンパー ツアソン局長 海運関係者			プロジェクト進捗遅延に対する陳謝及び今後の国内支援体制強化の意向を表明							

1-4 主な協議内容

1-4-1 専門家チーム

(1) 本年1月、ピメンテル校長が就任した。同校長は43歳と若く、また海上経験も十分有しており、一つ一つ確認しつつ着実に運営体制の改善に取り組んでいる。また専門家チームとのコミュニケーションも大幅に改善され、今後、同校長を積極的にサポートすることにより、同訓練所の更なる活性化が期待できる。

(2) NMPタクロバン・サイトにおいては、しかしながら、技術面において専門家とカウンターパート(C/P)との間をコーディネートすべき十分な資格と知識を有する専任の訓練部長がなかなか得られず、校長の負担を軽減するためにも適切な人物の任命が急がれるが、給与額の面で人選が難航している。

1-4-2 NMP関係者(ピメンテル校長ほか)

(1) 日本側の協力は約束どおり実施されており、比国側の対応の遅れのため迷惑をかけていることは残念であるが、今後、種々の改善策を着実に推進していきたい。

(2) 既に承認されている1988年度外国の援助事業(FAP: Foreign Assisted Projects)推進予算により、6月か7月にはインフラ建設(寮の建設、士官89名収容)に着工の予定である。また90年度にも新たなFAP予算を要求しており、日本の協力期間の延長があれば承認の可能性は高い。

(3) 7月から公務員の給与引上げが図られる見込みであるが、カウンターパートの定着を図り、優秀な人材を集めるためには、基本給は基準化されているので、他のインセンティブを考えなければならない。

現在、海外労働者厚生庁(OWWA)の基金(年間5,000ペソ)によりカウンターパートへのawardを与える案が検討されているが、将来は船主協会から寄付金を得るべく努力しており、また船員組合からもサポートする旨の意向が示されている。

(4) STCW条約(1978年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約)は外航船のみでなく内航船乗員にも適用することとしており、NMPでの訓練生の増加に貢献することとなろう。

(5) 従来のOWWAによる奨学金制度(返済義務あり)に加え、新たに返済義務のない奨学金制度(後述)を設けることとなった。

本制度が今年度軌道に乗れば、来年度以降拡充を図っていく方針である。

1-4-3 海事産業庁(MARINA、ツアソン長官ほか)

(1) MARINAは、NMPをサポートする立場にあり、今後とも協力を惜しまない。特にNMPと国立商船大学(PMMA)間のコーディネーション、エクスチェンジプログラム等種々の協力が考えられる。

(2) 相次いだ内航船の事故再発防止のため大統領によりタスク・フォースが設けられたが、調査の

結果、事故の原因は船員の能力に問題があるとの結論が出された。内航タンカーの70%は政府系であり、その乗員に対する訓練をNMPに依頼したいと考えているが、寮の問題の解決（増築）が先決である。

- (3) STCW条約の完全発効、比国人船員のかつてない需要の伸び、また内航船員から外航船員になる人も多いことから、NMPの重要性が高まることは確実である。
- (4) 話題になっているノルウェーの協力は新人教育部門であり、供与機材もARPA（自動衝突予防援助装置）のみで、NMPとの競合はあり得ない。
- (5) 関係機関からの強い要望により、NMPにおける再訓練受講をマングートリー化する項を削除するMARINA通達41-Aを発令することとなった。ただし、MARINAの審査規準に合格する訓練機関は数校と予想され、NMPの受講生数に影響は及ぼさないものと思われる。

1-5 NMP臨時理事会（BOT）会議

1-5-1 冒頭ピメンテル校長から、NMP理事会で既に承認されたものであるとして、これまでの本件協力の総括が行われた。要旨は次のとおりである。

- (1) 日本側の協力は成功裡に行われたが、比国側の対応に問題があった。今後、比国側の早急な対応が必要である。
- (2) STCW条約の完全発効により新しいコースの開設が必要となったが、カウンターパートの数が不足しており、質、量共に更なる向上が必要である。
- (3) 6月にはFAP予算によりインフラ建設工事を開始する予定であり、1990年には日本の協力延長があれば4,500万ペソの予算が得られる見込みである。
- (4) またカウンターパートに対するインセンティブ・プログラムは、BOTの承認が得られており、早急に実施計画の詳細を詰めていきたい。
- (5) 今後、比国側としては最大の努力を約束する。日本側でも協力延長につき是非とも前向きな検討方をお願いしたい。

1-5-2 これに対し、海外雇用庁（POEA）、海事産業庁（MARINA）、教育文化スポーツ省（DECS）、経済企画庁（NEDA）等から、協力の意思表示と、我が国協力延長の強い希望の表明があった。

特にNEDA代表から、本件は国家開発計画に明確に組み込まれており、その重要性については十分に認識している旨の発言があった。

1-6 ミニッツ署名に至る経緯

1-6-1 数回にわたるNMPを中心とした比国側関係機関との協議を踏まえて、団内でミニッツ案につき協議した結果、次のとおりの基本的認識に達した。

- (1) 派遣専門家の活動に加え過去数次にわたる調査団の派遣等により、NMPの訓練活性化

を図るべく対応策が検討されたが、比国側の実施体制は必ずしも満足のいくものではなかった。

- (2) しかしながら、最近の有能な校長の任命、FAP 予算によるインフラ整備活動の開始、OWWA による無償奨学金制度の導入、カウンターパートに対するインセンティブ・プログラムの策定、マーケティング活動の充実（例えば、本年 100 万ペソをかけて新聞、テレビ等で宣伝している）等、顕著な努力がみられることについて高く評価する。
- (3) 比国側も現実の実現可能性を探りながら、日本側との確たる約束をせんとする対応ぶりであり、一步ずつ着実に改善を図る方針を打ち出しており、日本側としても、その努力をサポートする必要がある。
- (4) カウンターパートに対する技術移転に関しては、コース実施マニュアル等の作成、クロス・トレーニング（一人の教官が複数の教科を担当できるように訓練する）等にも努力していく必要がある。

1-6-2 比国側に対する要請は、できる限り実現性のある事項とし、現在、比国側が推進している次の改善策の着実な実施を求める。

- (1) カウンターパートの定着、リクルートを図るための方策として、Faculty Development Program を 7 月までに提出するよう求める。
- (2) 十分な知識、資格を持った訓練部長の任命（Master Mariner または Chief Engineer クラスが望ましいが、人物的に適性があれば、それに準ずる資格でもよいこととした）。
- (3) OWWA 新奨学金制度の円滑な実施。
- (4) 職員の定着、訓練生の増加に備えるための寮の建設等インフラ整備の充実。
- (5) 更なるマーケティング活動の強化。

1-6-3 1987 年から導入したモジュール化により、当初 R/D 署名時の実施計画と齟齬が生じているところ、実施計画を現実に合わせ改訂する。

1-6-4 新コースを含む 12 月 21 日以降の協力要請については、国内での検討が必要であるので持ち帰る。

1-6-5 ただし、比国側の 1989 年度 FAP 予算は我が国の協力が 1989 年度以降も延長される条件で確保できるものであるため、予算審議の関係上、遅くとも 8 月までにその可否につき承知したい意向であったところ、我が国検討結果を 8 月までに伝達することを約した。

1-6-6 また、実施計画の改訂については、カウンターパート数、その資格、コース実施計画についても明示を図るべきであったが、時間的制約のためミニッツにおいてはモジュールを明示するにとどめた。

12 月以降延長を行う場合、現実に即した改訂を行うことが必要であろう。

1-6-7 比国側とのミニッツ協議は、既に十分な意見交換を行っていたため、特に異論が出ることもなく、団長と労働雇用大臣との間で署名が行われた。

1-6-8 なお署名に先立ち、同大臣より要旨次のとおりコメントがあった。

- (1) 今次調査団との間で実りある討議が行われたことを嬉しく思っている。
- (2) 本件に係る日本側の協力を高く評価しているが、比国側の対応に問題があった。今後新校長の努力を待って、十分意味のある事業にしていきたい。
- (3) 特に最近の比国人船員の需要は高く、1988年は8万5千人が外航船に乗船しており、過去最高となった。
- (4) この傾向は今後とも続くものとみられ、内航船員の訓練の必要性も含め、NMPの意味はますます高くなるものと確信できる。
- (5) 現在、当初の比国側の約束を果たしていない点が多いが、予算関係者とも十分協議しているので、日本側の理解をお願いしたい。

1-7 ミニッツ署名

NMPとの協議及び合意事項は以下のとおり。

1-7-1 現在配置されているカウンターパートに対する技術移転は概ね終了したが、さらに技術水準を高めるための技術指導、指導者用マニュアルの作成及び新規採用教官に対する技術指導のため、1989年12月21日まで6カ月間協力期間を延長する。

1-7-2 延長期間中に派遣される専門家は、以下のとおりとする。

チーフアドバイザー	1名
調整員	1名
航海	1名
機関	1名
タンカー(特別コース)	1名

計5名

1-7-3 比側が取るべき措置として我が方が申し入れた点は以下のとおり。

- (1) 教官の養成計画及び採用計画を日本人専門家と協議のうえ作成すること。
- (2) 教官の定着のための対策を講じること。
- (3) 訓練担当の副学長を採用・任命すること。海上実歴を含め十分な資格を有する人物であり、一等航海士あるいは機関長以上が望ましい。
- (4) OWWA奨学金制度の円滑な実施を図ること。
- (5) 訓練生及び教官用の宿舍を確保すること。
- (6) 訓練生募集のための広報活動を強化すること。
- (7) その他訓練内容を向上させるために必要な諸対策を講じること。

1-7-4 R/D記載内容の変更。

現状に即した訓練計画とするため、従来のパッケージ・コースからモジュール別コース実施とすることに双方が合意した。(Annex参照)

THE MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE EVALUATION TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
ON THE NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC
TRAINING CENTER PROJECT

The Japanese Evaluation Team, (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency and headed by CAPT. ISAMU OHSUGI, visited the Republic of the Philippines from April 10 to 20, 1989 for the purpose of evaluating the achievements of the technical cooperation for the National Maritime Polytechnic Training Center Project (hereinafter referred to as "the Project"), as well as discussing the pending issues on the implementation of the Project with the authorities concerned of the Government of the Republic of the Philippines.

The Philippine side, represented by CAPT. GEORGE M. PIMENTEL, presented the evaluation report of the Project, and expressed their gratitude to the Team for the effective and successful implementation of the Project through the cooperation from the Government of Japan.

J. Pimentel
The Team gave a brief statement about the result of a series of evaluation activities, and highly appreciated the recent efforts made by the Philippine side for the implementation of the Project, including the budgetary releases for the Foreign Assisted Projects (FAP's) infrastructures, Overseas Workers Welfare Administration

(OWWA) Scholarship Program, faculty incentives and marketing supports, among others.

As a result of the evaluation, the Team observed that the technical transfer to the present Philippine counterpart personnel has almost completely achieved the anticipated objectives on the expiry of the term of the technical cooperation on the basis of the Record of Discussions (R/D) signed on June 13, 1985

The Team further observed that specific measures are necessary to strengthen the Project in anticipation of increased training needs over and above the mandatory minimum requirements of STCW, IMO Convention (1978), and to make the National Maritime Polytechnic Training Center independent and self-operational in the near future.

In particular, a delay has been observed in the technical transfer to the Philippine counterpart personnel concerning the following aspects: recruitment of Philippine counterpart personnel, preparation and completion of course handling Manual (including additional VTR film production) for upgrading courses, and quality upgrading of Training Staff. At the same time, there is the necessity of cross training for present counterparts and of training and technical transfer to the newly recruited and would-be members of the Training Staff in the future.

Handwritten signature

Handwritten mark

I. EXTENSION UNTIL DECEMBER 21, 1989

As a result of the discussions, both sides agreed to make recommendations to their respective Governments to extend the present Japanese Technical Cooperation Program until December 21, 1989 and to effect the successful implementation of the Project on the following terms and measures:

1. TERMS OF THE TECHNICAL COOPERATION IN THE EXTENDED PERIOD

- 1.1 Cross training for Present Counterparts;
- 1.2 Training and Technical Transfer to the Newly Recruited and Would-be Members of the Training Staff in the Future;
- 1.3. Preparation and Completion of Course Handling Manual (including additional VTR film production) for the Upgrading Courses; and
- 1.4 Quality Upgrading of Training Staff.

2. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

- 2.1 Provide the National Maritime Polytechnic until December 21, 1989 with a Team of Japanese experts to include:

One (1) Chief Adviser

One (1) Coordinator

One (1) Expert on Deck Upgrading Courses

One (1) Expert on Engine Upgrading Courses

One (1) Expert on Tanker Courses

- 2.2 Donate training equipment, mainly spareparts, in the Japanese fiscal year 1989.

- 2.3 Accept counterpart personnel for training in Japan in the Japanese fiscal year 1989.

3. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

- 3.1 Make detailed plan/program on faculty development and recruitment of counterpart personnel in coordination/consultation with Japanese expert team.
- 3.2 Ensure the stability and retention of service of faculty members.
- 3.3 Appoint a Vice-President in charge of Maritime Training with appropriate qualification and sea experience, preferably a Master Mariner/Chief Engineer.
- 3.4 Maintain smooth implementation of OWWA Scholarship.
- 3.5 Provide infrastructure projects including Training Staff's and trainees' dormitories.
- 3.6 Strengthen marketing and information activities.
- 3.7 Undertake other measures to ensure quality training and trainees' welfare.

II. AMENDMENTS TO THE RECORD OF DISCUSSION

Amend

Both sides discussed the necessity of amendments to the Record of Discussions in consideration of the introduction to modules (scheduled classes)-- to suit present developments, and the change of schedule from packaged to individual modules. These amendments which are intended towards relevance to prevailing conditions are included as Annex to the Minutes of Discussion Between the Team and the Project.

III. PROPOSAL FOR FURTHER EXTENSION

In addition to the aforementioned request for extension of the Japanese technical cooperation program for six (6) months until December 21, 1989, the Philippine side made new request for further extension for at least two (2) years (1990-1991) to cover the following courses/modules:

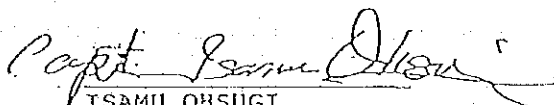
Deck Upgrading Courses : Electronic Navigation
(Global Positioning System)
rules of the Road
radiotelephony

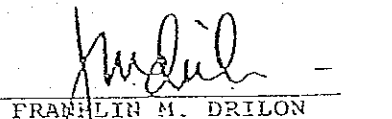
Engine Upgrading Course : Marine Electronics

Special Courses : Safety in Dry Cargo Ship
Carrying Dangerous and
Hazardous Goods
Crude Oil Washing and
Inert Gas System

The detailed explanations on the above-mentioned new request will be taken back to Japan for proper consideration, the results of which will be transmitted by the end of August 1989.

Manila, April 19, 1989


ISAMU OHSUGI
Head, Evaluation Team
Japan International
Cooperation Agency


FRANKLIN M. DRILON
Secretary
Department of Labor and
Employment

ANNEX

FRAMEWORK OF TRAINING COURSES*

A. DECK UPGRADING COURSES	B. ENGINE UPGRADING COURSES	C. SPECIAL COURSES
1. PRACTICE OF NAV.	1. ELECTRO TECHNOLOGY	1. TANKER
2. AIDS TO NAV.	2. MARINE ELECTRICITY	SAFETY
3. ELECTRONIC NAV.	3. AUXILIARY SYSTEMS	2. TANKER
4. TRIM/STABILITY	4. HYDROMECHANICS	OPERATION
5. SAFE CARGO STOWAGE	5. STEAM PLANT	3. SOLAS
6. SHIP HANDLING	6. DIESEL PROPULSION	
7. RADAR OBSERVER	7. CONTROL ENGINEERING	
8. RADAR SIMULATOR	8. REFRIGERATION	
9. ARPA		

J. S. S. S.

* Each training course/module is handled by an instructor.

Faculty development program on rotation scheme will be enhanced if additional counterpart personnel are recruited.

2. 我が国協力実績

2-1 主な施設、機材

2-1-1 施設については、無償資金協力により訓練棟1棟(5,000m²)、事務棟1棟(1,500m²)、発電機棟1棟(50m²)を供与。

2-1-2 機材については、無償資金協力により気象・海象測定機器、各種シミュレーター、模型等を供与。(別表-2参照)

2-1-3 技術協力プロジェクト予算により、スペア・パーツを中心として機材を供与。

2-3 受入れ研修員

カウンターパート研修員受入れ実績

昭和59年度	高級	1名	11日間受入れ
昭和60年度	航海 (2) 機関 (2)	計4名	33日間受入れ
昭和61年度	航海 (3) 機関 (1) 保守 (1)	計5名	81日間受入れ
昭和62年度	航海 (1) 機関 (1) 保守 (2)	計4名	89日間受入れ
昭和63年度	航海 (1) 機関 (1) タンカー (1) 船員教育行政 (1)	計4名	95日間受入れ 42日間受入れ
	合計	18名	

日本でのカウンターパート研修状況

カウンターパート氏名 (担当分野)	研 修 目 的	研 修 場 所 及 び 期 間	研 修 結 果	現 在 の 状 況
ベンジャミン・タニエド (校長)	高 級	商船教育機関及び関連機関 1984年1月23日～2月3日		1987年3月 退職
アレックス・キランタン (航海向上課程)	航海技術研修 機器取扱実習	海技大学校・海上防災センター・船会社・航海訓練所・中北東京計器・IHI・古野・三井造船		1988年6月 解雇
ロメル・ガクタン (航海向上課程)	練習船乗船	1985年10月16日～11月17日		1987年10月から 上級免状取得のため 休職中(民間船社乗組)
ジョージ・ファクチャー (航海向上課程)	機関技術研修 機器取扱実習	海技大学校・海上防災センター・船会社・航海訓練所・三菱・横河電気・IHI・寺崎・ヤンマー・三井造船・川重		1988年9月から 上級免状取得のため 休職中(民間船社乗組)
ノエル・ハボス (航海向上課程)	練習船乗船	1985年10月16日～11月17日		機関科長 現コースすべてに教鞭がとれる エンジン・シミュレーター担当
マニュエル・デ・レオン (航海向上課程)	航海技術研修	IHI・川崎汽船・ 海技大学校・古野電気・ 航海訓練所		航海科教授 電子航海担当
ホセリト・エルム (航海向上課程)	機器取扱実習 練習船乗船			航海科教授 タンカーコース兼任 航法及びタンカー担当
ジェニス・ムラロス (航海向上課程)		1986年10月5日～12月23日		航海科教授 操船・トリム&スタビリティ 担当
ウイリソン・トラビニア (機関向上課程)	機関技術研修 機器取扱実習 練習船乗船	IHI・寺崎電気・ 海技大学校・横河電気・ 航海訓練所		1987年10月から上級免状取得 のため休職中(フィリピン 乗船中)
エルマー・パンギエ (保守)	保守技術研修 機器取扱実習 練習船乗船	1986年10月5日～12月23日		保守課長 教授 電子コース教授可
デニス・タン (航海向上課程)	航海技術研修 機器取扱実習 練習船乗船	古野電気・三井造船・ 海技大学校・海上防災セ ンター・横河電気・IHI		航海科准教授 レーダー・ARPA担当
エルバート・センテ (保守)	保守技術研修 機器取扱実習	1987年6月8日～9月4日		保守課 准教授 航海科機器保守担当
レイナルド・タスタス (保守)	練習船乗船	古野電気・三井造船・ 海技大学校・海上防災セ ンター・横河電気・IHI		保守課 准教授 機関科機器保守担当
イルミナド・ヒナグビス (機関向上課程)	機関技術研修 機器取扱実習 練習船乗船	1987年6月8日～9月4日		機関科教授 自動制御担当
アドリアノ・ドミニセ (航海向上課程)	航海技術研修 機器取扱実習 練習船乗船	航海訓練所・海技大学校 ・古野電気・日本郵船・ 海上防災センター・IHI タンカー見学		航海科助教授 気象担当
エマニュエル・ラギタン (タンカー・コース)	タンカー技術研修 機器取扱実習 練習船乗船	1988年8月2日～11月4日		スペシャル科助教授 タンカー担当
ティルソ・プーライ (機関向上課程)	機関技術研修 機器取扱実習 練習船乗船	古野 → 寺崎電気 を除き同上 1988年8月2日～11月4日		機関科准教授 4サイクルエンジン担当
ジュード・コルテス (航海向上課程)	船員教育行政	運輸省・MICC 1988年10月20日～11月30日		航海科長(訓練部長代理) レーダー・ARPA担当

2-4 調査団の派遣

調査事項等	派遣期間	概要
比国の要請	昭和58年1月7日 STCW 条約等に規定された知識、技能を修得せしめる教育を実施するため無償資金協力及び技術協力を要請越した	
事前調査	昭和58年8月18日～58年8月31日	<ul style="list-style-type: none"> ○全体計画の中におけるプロジェクトの位置づけ（関連指標、統計の把握、プロジェクト分野の現状、優先度、緊急性の確認等） ○訓練所全体構想の把握（先方の投入計画、運営体制、活動計画等） ○我が国に対する要請内容の確認 ○船員教育の現状及びプロジェクトのベースとなる既存訓練所（National Maritime Polytechnic：NMP）の調査を実施 ○デンマークのローンによる M/S フィリピナス号（訓練船）の視察及びデンマークの協力との関連調査
実施協議	昭和60年6月3日～60年6月13日	<ul style="list-style-type: none"> ○協力期間の設定（昭和60年6月13日～平成元年6月12日の4年間） ○専門家による協力分野の設定（下記） <ul style="list-style-type: none"> チーフアドバイザー 調整員 向上コース（航海及び機関）担当専門家 特別コース（レーダー観測、レーダーシミュレーター、タンカーセイフティ）担当専門家 cf. R/D 期間中、必要に応じ短期専門家を派遣する ○無償資金協力機材に対する補足機材を若干量供与する ○日本で研修するカウンターパートの R/D 期間内の受入れ総数15人程度（うち5人をメンテナンス要員）とする ○比国側カウンターパート 42人 ○予定訓練コース（年間計画） 合計 1,440人 <ul style="list-style-type: none"> 1. 向上コース 640人 <ul style="list-style-type: none"> 航海課程 320人（40人×4種） 機関課程 320人（40人×4種） 2. 特別コース 804人 <ul style="list-style-type: none"> レーダー観測 300人 レーダーシミュレーター 384人 タンカーセイフティ 120人
計画打合せ調査	昭和60年10月14日～60年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○専門家チームが着任後速やかに協力活動を展開し得るようカリキュラム・教材作成計画、カウンターパート受入れ計画、機材供与計画及び訓練実施計画等、比側の訓練コース開講への対応状況を確認し、比側関係者と協力活動の取り進め方について協議した
巡回指導調査	昭和61年9月3日～61年9月12日	<ul style="list-style-type: none"> ○61年6月19日開所し、訓練コースは同年7月28日の向上コースを皮切りに順次開始。また、特別コースも同年11月10日以降順次開始した ○第1回受講者が少数であったため同年8月29日開催された第1回合同委員会でマーケティンググループを設置 ○所定のカウンターパート要員を早急に充当するよう要望 ○向上コースについて62年1月からモジュール化導入に双方同意した。 ○供与機器に対するカウンターバジェットを要望 ○訓練終了者に STCW 条約の訓練レベルを確保し得る受講証の発給システムの樹立を要望

計画打合せ 調査	昭和62年10月20日～62年10月28日	<ul style="list-style-type: none"> ○船員教育及び海技免状発給の面において、海事行政の中におけるNMPの役割の明確化 ○NMPと関連する他の海事機関との協調策を講ずること ○国レベルの財政援助体制を定着させること ○マーケティング活動の強化 ○経験を積んだ良質のカウンターパートを充足すること
NMP評価 調査	平成元年4月10日～元年4月20日	

3. NMPの運営体制、予算

3-1 運営体制

3-1-1 新校長の任命は後述(4-1-1)のとおりであり、その人柄、経験等申し分なく、NMPの今後の運営体制を整備していく上で大きな役割を果たすことが期待される。またマーケティング担当部長には1987年11月、Alfredo C. Antonio氏が大統領令により任命され、新校長の指揮の下にOWWA等協力機関と連携してNMP施設の見学会、パンフレット、ポスターの製作等に取り組んでいる。

3-1-2 しかしながら、訓練担当部長の任命については1987年度計画打合せ調査団からも申し入れているが、未だに適任者の任命は実現していない。今後解決されるべき最重要課題の一つといえる。

3-1-3 予算担当官については既に元予算省職員が採用(1988年1月任命)されており、今後の予算拡充についての手腕に期待したい。

3-1-4 他の海事機関によるNMPサポート体制は、OWWAを中心としてかなり進んでいると見受けられる。BOT会議においても、各機関から積極的支援の意思表示があり、調査団からも機会あるごとに支援方依頼した。

3-1-5 教官(C/P)の必要数については、モジュール化に伴い、かつ採用可能性を考慮して、比国側としては最低47名を目標としたいとの考え方が示され、当方としても現実的な対応として理解し、比国側の努力を促した。

3-2 予算

3-2-1 1985年以降の予算執行状況は別表-3のとおりである。

3-2-2 1986年は支出減となっているが、政権交代後の混乱によるものと思われる。

3-2-3 特筆すべきは、1988年になり、初めて22,000千ペソのFAP予算が承認されたことである。比国政府としても当プロジェクトの活性化を予算面においてようやく具体的に打ち出したものと思われる。1989年、1990年とFAP予算は増加の方向にあり、1990年は我が国協力延長が条件であるが、比国側努力は評価できる。

4. 教育・訓練

4-1 概況

4-1-1 NMPの教育・訓練に関しては、管理・運営の最高責任者である校長が4年間に4人交代してきた例に問題が端的に表れており、また、その他のポストについても、重要ポストである訓練部長に適格者が未だに得られていない。この問題の背景としては、要求される資格に見合う給与面の手当が困難なこと、及び遠隔地であること等が考えられる。

幸い、本年1月に第4代目の校長、Capt. Gerorge M. Pimentel (1967年 PMMA 卒、海上経歴9年、IMO 世界海事大学修了、前 PMMA Academic Department 部長、アジア経営研究所講師兼任、43歳) 氏の就任を得て、NMPの運営はようやく軌道に乗りかかったところである。

懸案となっている訓練部長の配置については、早急に適任者の採用を再度比国側に要請した。

4-1-2 このほか NMPの管理・運営で重要なものとして、①優秀な教官の確保・定着化、②学生募集(マーケティング)の強化、③教官宿舎、学生寮の整備、教育資機材に関する保守維持費等の予算確保、という三つの大きな課題を抱えており、今次の調査において、比国側とこれら施策の強化に向けて、可能な範囲で十分な意見交換を行ってきた。

これら三つの課題のうち、①及び②については、4月13日、Special Board of Trusteesにおいて、海外雇用庁(POEA)、海事産業庁(MARINA)、コースト・ガード(PCG)、教育文化スポーツ省(DECS)、経済開発庁(NEDA)の各代表に具体的な NMP への支援策を述べてもらい、比国側は引き続き我が国の協力を強く要請してきた。(議事録参照)

4-1-3 教官宿舎に関しては、これの整備等によって優秀な教官の確保・定着化に魅力ある施策をとっていく必要があり、比国側に努力を要請した。

教官定着化策として、カウンターパートの我が国における研修受入れの果たしている効果も大きい。NMPは、日本での研修受講者との間で3カ年の NMP 勤務に関する誓約を交わしている。

4-1-4 学生募集に関しては、懸案の学生寮の整備費が1989/1990の両年の予算に計上され、本年6月から工事開始の予定であり、学生募集の環境が整うこととなる。寮の利用についても、学生の便利のため、一部家族同伴が可能となるような運営を行うこととなっている。また学生募集の強化のため、NMP マーケティング・スタッフの強化、企画とマーケティング活動の活性化とともに、NMP での勉学に必要な経費負担を軽減する措置として、OWWA Scholarship (奨学金、年間総額680,000ペソ) が、外国船に2回以上乗船した者、すなわち船員厚生基金に相応の寄与をした者に対し、本年5月以降給付されることとなった。給付

内訳は旅費、学費、食費とし、一人1回3,500ペソ以内となっている。このほか、学生募集に関しては、NMP修了者が教科内容にとどまらず、生活環境も含めてすべての面で満足し、NMPの評価が高まっていくことが重要であり、比国側において今後この主旨に沿って努力していくよう要請した。

4-2 コースの開設状況

4-2-1 NMP訓練センターは、航海科及び機関科の上級免状取得を目指す船員再教育機関として1986年6月19日に開校し、当初のコースとしては航海・機関の各向上コース、各40名、15週間及び特別コース(タンカー)30名、各5週を計画していた。

しかしながら、実際働いている船員の再教育受講を容易にする必要から、1986年11月の巡回指導調査団派遣の際の日比双方の合意に基づき、各課程のモジュール化が図られ、現在次のモジュールで実施されている。

*航海向上課程(9モジュール)

- ① 航 法
- ② 航海援助装置・気象
- ③ 電子航海計器
- ④ トリム・スタビリティ
- ⑤ 載 貨
- ⑥ 操 船
- ⑦ レーダー基礎・取扱
- ⑧ レーダー・シミュレーター
- ⑨ 自動衝突予防援助装置

*機関向上課程(8モジュール)

- ① 電 子
- ② 舶用電気
- ③ 補助機関
- ④ 油圧装置
- ⑤ 蒸気機関
- ⑥ 内燃機関
- ⑦ 自動制御
- ⑧ 冷凍機器

*特別コース(3モジュール)

- ① タンカー・セーフティ
- ② タンカー・オペレーション

③ SOLAS

4-2-2 別表-4は、年別の訓練コースの実施状況を示すものであり、各課程のモジュール化以後、年を追って各モジュールコースの開講状況が活発化し、とりわけ1988年以降、一定の軌道に乗りつつあることがわかる。

4-3 教育資機材の状況

4-3-1 我が国が供与した教育資材は次のとおり。

航海訓練用機材：レーダー装置、レーダー・シミュレーター、電子航行援助装置シミュレーター、操船シミュレーター等

機関訓練用機材：ディーゼルエンジン・シミュレーター、補機実習装置（各種ポンプ、冷凍空調シミュレーター等）、発電機配電盤シミュレーター、油清浄機等特殊技能訓練用機材等

特別課程用機材：消火訓練用機材、救命艇訓練用機材、無線電話、荷油・荷役シミュレーター等

4-3-2 我が国が供与した教育資機材は、専門家の技術指導と部品等の提供協力により総じて良好に稼働している。各資機材の活用状況は別表-5に示すとおり、その使用度は概して良好であり、カウンターパートの操作、保守能力も逐次高まってきている。

ただし、航海訓練シミュレーター関係で、プリント基板の故障が見られる。これはタクロバン市内の電源事情（電圧変動及び頻繁に起こる停電）に起因するものもあると考えられ、今後自らの電力供給、すなわちディーゼル発電機1セットの増設によって賄うことが必要と考えられる。

4-3-3 教育資機材の良好な機能を確保するためには、維持管理要員は養成されているものの、機材の維持保守の面で引き続き我が国からの技術協力が是非とも必要な状況にある。さらにNMPが将来的に自立運営していくためには、比国側自らの更なる財政措置が必要である。

4-4 受講者実績

4-4-1 別表-6は、年別のモジュール別受講者実績を示している。3コースの全受講者数は、1986年70名、1987年310名、1988年749名、1989年（3月まで）272名の計1,401名であり、比国の政治・経済の安定化に伴い、1988年から着実な受講者実績を示していると考えられる。

4-4-2 今後の受講者数は、次の理由により、より一層の増大を見込み得るものと考えられる。

① NMPに対するFAP特別予算により、学生寮の整備が本年度中に開始され、引き続き次

年度においても同額程度の予算(1,000万ペソ)による寮の整備が見込まれること。受講生を送り込む船会社、人材派遣会社が寮施設が完備されれば教育施設は質量共に比国随一であるNMPに受講生を送り込むと言明してきた経緯がある。

② 外航海運市況が好況で、比国船員に対する需要が高いこと。またマーケットニーズに応じ、タンカー等特定船員分野の資格向上に対する意欲が高まっていること。

これに関連して、NMPに距離的に近いセブ近辺の内航船員のタンカー特別コースへの参加が計画されていること。

③ 比国におけるSTCW条約の完全発効(本年5月22日、内・外航への強制適用)。

④ OWWAが、外国船に2回乗船した船員に対し、奨学金(旅費、学費、食費)を供与することとなったこと(本年5月開始)。

4-5 教官(カウンターパート)の配置状況

4-5-1 比国の政治・経済の混乱は、NMPの校長(過去4年間に4人の交代)をはじめとする管理要員の確保とともに、各モジュール別の教官の確保に大きな影響を及ぼしてきた。

教官からの率直な意見聴取では、本校の教官であることの誇りを有しつつも、各人更なる乗船履歴をつけて上級資格を取得していきたいとの希望があり、ローテーション・スキームの早期実現が待たれるところである。また給与の安い点はやむをえないこととしても、せめて教官用宿舎が欲しいとするなどの意見もあり、少なくとも宿舎の整備が教官定着の一つの魅力ある措置であることがわかった。

4-5-2 教官については、別表-7のとおり、現在航海9名(うち1名が乗船中)、タンカー2名、機関10名(うち2名が乗船中)及び保守4名が配置されている。また、訓練部長の適任者任命が大きな問題であるので、早急の配置を要請した。

4-5-3 教官の配置については、1987年の各コースのモジュール化に対応して、所定の教官配置数等を見直す必要があり、今次の調査において比国側とそれらの考え方についての意見の交換を行った。

すなわち、教官の配置については、各コース科長、モジュール数(航海9、機関8、タンカー2及び保守4)に対応する人数、乗船実習に回す余裕人数及び新たな課程設定に対応する教官が必要となる。

このような考え方に基づき、現行のモジュールに対応する各コース別の教官数は、各教官が3年間に1回(1年)乗船実習をすれば、

航海向上課程	$1 + 9 + 6 = 16$ 名
機関向上課程	$1 + 8 + 4 = 13$ 名
特別課程	$3 + 1 = 4$ 名
保守	$5 + 1 = 6$ 名

及び、

SOLAS コース 6 + 2 = 8 名

を加え、訓練部長を除き、最低計47名必要となる。

4-5-4 教官の資格に関しては、各コース別かつモジュールの特性に応じて、本来厳格な資格づけが必要であるが、比国の船員事情からみて、若い優秀な教官を採用して、最高資格の教官に育てていく人事目標を掲げていくことが現実的と考えられる。このような観点から、7月までに Faculty Development Program 実施の具体案を示すよう要請した。

4-5-5 教官定着に資するものとして、日本における研修が重要な役割を果たしているのは事実であり、現行の研修期間(3カ月)の延長希望が教官から寄せられた。

4-6 専門家派遣状況

NMP 教官(カウンターパート)への技術移転を目的とした我が国からの専門家派遣は、当初設定された我が国の協力期間4カ年に合わせ、

リーダー 1名

調整員 1名

航海 2名

タンカー 1名

及び、

機関 2名

の計7名を、派遣期間2カ年として総計2回派遣し、現在後半派遣の7名が、1989年6月までの任期を残し、現地勤務についている。

5. 1990年以降の協力問題

- ① 今次の調査において、比国側は、STCW条約の比国における効力の発生に伴う対応、及びMARPOL条約、1992年に導入が予定されているGMDSS（世界的な海上遭難安全制度）への対応の必要上、ミニッツⅢに記述するモジュール新設の必要を訴えて、1990年以降も引き続き最低限2カ年の協力期間の延長を我が国に要請した。
- ② これに関しては、我が国に対する新たな協力要請であり、また我が国における協力体制を検討する必要があるので、後日1989年8月までに比国側にその諾否を回答することとして、持ち帰った。
- ③ 比国の政権交代に伴う政治・経済の混乱により、予算及び人事両面でNMPの運営にも大きな影響が生じたところであるが、1988年に至って教官の配置及び学生の募集について、どうか軌道に乗りかかったところであり、予算措置については、本年度以降の特別予算で学生寮の整備が始まろうとしている状況である。

専門家派遣による教官への技術移転については、現行スタッフに対して一応の成果をあげているが、今後教官のローテーション・スキーム実施への配慮及び新設モジュールへの対応の必要がある。

- ④ 一方、国際海運市況の好転により比国船員需要が高まり、船員の外貨獲得が比国経済に寄与している以上、船員育成に努力していくことは、比国にとってますます重要な施策となっている。

今後NMPとして、次の各課程を追加、充実していく必要があるとして協力を要請されたが、検討のため持ち帰った。かかる要請の背景には、船舶技術の近代化、STCW条約、1978年MARPOL（海洋汚染防止）条約、及び1971年のSAR（捜索救助）条約の実効性を高めるために、1992年導入が予定されているGMDSS（全世界的な海上遭難安全制度）への対応がある。また、引き続き航海・機関両コースを基本としつつ、海運市場の船員需要を考慮して、次の各モジュール等の必要に迫られている。（今次調査団ミニッツ参照）

*航海向上課程：① 電子航法（GPS）

② 海上衝突予防規則（Rules of the Road）

③ 無線電話（Radiotelephony）

*機関向上課程：① 船用電子工学（Marine Electronics）

*特別課程：① タンカー；COW（Crude Oil Washing）& IGS（Inert Gas System）

② 危険物の海上乾貨物輸送

定員：187名（現在167名配属）
 欠員部署：准教授 4 PRPD 6
 助教授 4 その他 3
 講師 3

N M P O R G A N I G R A M

(July 27, 1989現在)

BOARD OF TRUSTEES
 Undersecretary - Antonio Hechanova

P R E S I D E N T
 Capt. George Pimentel

MANIAL LIAISON OFFICE

**L E G A L
C O A**

- 1 R. Sivilla - Asso. Professor
- 2 D. Factuar - Sc. Res. Splt III
- 3 C. A Valencia - Resistrar
- 4 J. Bucad - Supply Officer II
- 5 V. Acebedo - Clerk II
- 6 F. Noriega - Driver
- 7 A. Montoya - Messenger
- 8 J. Mangona - Messenger

- 1 F. Cagara - Sr. Exec. Assistant
- 2 S. Meria - Clerk I
- 3 M. Belozo - Messenger

J I C A

D A N I D A

N M F

Chief Advisor - Capt. Koji Otani
 Coordinator - Mr. Masafumi Yamagami
 Tanker Expert - Capt. Noboru Dobashi
 Deck Expert - Capt. Shyuichi Hayafune
 Engine Expert - Engr. Yuho Goko

M/S FILIPINAS

MANAGEMENT AUDIT SERV.

- 1 R. Beringuel - Sr Mgt. & Audit Analyst
- 2 R. Majahillas - Mgt. & Audit Analyst
- 3 Aguste - Jr. Mgt. & Audit Analyst
- 4 Napisa - Clerk I

RESISTRAR

- 1 E. Canono - Asso. Prof/Acting Resistrar
- 2 L. Alcaras - Clerk II

EXECUTVE VICE PRESIDENDT

VICE PRESIDENT PRPD
 Alfred C. Antonio

VICE PRESIDENT MARITIME TRAINING (Acting)
 Capt. Exequiril S. Campo

- 1 E. Mico - Clerk II

VICE PRESIDENT ADM. & FIN.
 Benjamin A. Umipig

- 1 M. Cinco - Messenger

A. CORPORATE PLANNING

- 1 G. Ayaso - Superrisor Educational Researcher
- 2 P. Helenda - Educational Researcher II
- 3 G. Adlaman - Educational Researcher I
- 4 A. Bacason - Educational Researcher I
- 5 G. Cadezal - Educational Researcher I
- 6 N. Elizaga - Supervisor EDP system Analyst
- 7 B. Alday, Jr - EDP Researcher Analyst
- 8 R. Asensi - Clerk I
- 9 S. Cobacha - Clerk I

B. MARITIME RESEARCH

- 1 L. Mendoza - Sc. Res. Splst. I
- 2 R. Marquez - Sc. Res. Splst. I
- 3 L. Sinangote - Sc. Res. Splst. I
- 4 Z. Dolina - Sc. Res. Asst. I
- 5 O. Loteyro - Sc. Res. Asst. I
- 6 N. Calamaya - Clerk II
- 7 R. Colitana - Messenger

C. PROJECT DEVELOPMENT

- 1 B. Abella - Sr. Dev't. Proj. Coordinator
- 2 A. Medalla - Dev't Proj. Evaluator
- 3 N. Buatis - Proj. Evaluation Ofcr.
- 4 P. Tuazon - Sr. Architectural Draftsman

D. INFORMATION & MARKETING

- 1
- 2
- 3

A. SUPPORT STAFF

- 1 R. Beringuel - Profe/Head
- 2 N. Garsila - Artist/Illustrator
- 3 A. Arcena - Shop Electrician
- 4 E. Mico - Clerk II
- 5 J. Leurante - Clerk II
- 6 N. Canete - Clerk II
- 7 R. Vinculada - Clerk I
- 8 E. Sudario - Clerk I
- 9 A. Nicanor - Professor
- 10 R. Gariando - Messenger
- 11 J. Balangbarang - Mech. plant ope.

B. Library and

- 1 E. Cinco - Professor
- 2 R. Benson - Library Aide

C. NAVIGATION/DECR

- 1 J. Cortez - Professor
- 2 G. Murallos - Professor
- 3 M. de Leon - Professor
- 4 R. Gacutan - Professor
- 5 S. Cuizon - Asso. Professor
- 6 D. Tan - Asso. Professor
- 7 R. Comendador - Assi. Professor
- 8 A. Dominise, Jr. - Assi. Professor
- 9 N. Montilla, Jr. - Assi. Professor
- 10 F. Go - Instructor
- 11 R. Meceda - Instructor
- 12 R. Malate - Clerk II (JICA)

D. Engine

- 1 N. Japos - Professor
- 2 J. Factuar - Professor
- 3 W. Travina - Professor
- 4 I. Hinagpis - Professor
- 5 P. Militante - Associate Professor
- 6 T. Puray - Associate Professor
- 7 M. Guinez - Assistant Professor
- 8 M. Iran - Assistant Professor
- 9 A. Escolamo - Assistant Professor
- 10 A. Turla - Assistant Professor
- 11 R. Arandia - Instructor
- 12 C. Coscos - Instructor
- 13 G. Manadong - Mech. Plant. Operatr
- 14 B. Macariola - Clerk II (JICA)

E. SPECIAL COURSES

- 1 J. Erum - Professor
- 2 R. Cagulada - Professor
- 3 G. Alilio - Asso. Professor
- 4 E. Laguitan - Assi. Professor
- 5 G. Brasileno - Assi. Professor
- 6 C. Salinas - Assi. Professor
- 7 M. Esquibel - Assi. Professor
- 8 D. Almonte - Assi. Professor
- 9 Z. Rosete - Instructor
- 10 J. Aquino - Instructor
- 11 T. Nieto, Sr. - Instructor
- 12 D. Bitago, Sr. - Instructor
- 13 F. Idio - Instructor
- 14 M. Nisperos - Instructor

F. Technical Operation

- 1 E. Pangué - Professor
- 2 E. Sente - Associate Professor
- 3 H. Tanadnanud - Associate Professor
- 4 H. Ignacio - Instructor

A. HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT

- 1 F. Cuest - Pers. Ofer. II/Hd
- 2 D. Erpe - Trng. Spclst.
- 3 P. Ligua - Trng. Ofcr.
- 4 H. Marcos - Sr. Pers. Aide
- 5 S. Penalosa - Clerk II
- 6 A. Dolina - Messenger
- 7 C. Briana - Messenger
- 1 B. Campo - Admin Asst/Head
- 2 R. Gunabe - Supply Officer I
- 3 R. Mazo, Jr. - Clerk II
- 4 R. Lagramada - Clerk II
- 5 B. Latoja, Jr. - Clerk II
- 6 S. Melchor - Clerk I
- 7 A. Pedrera - Bldg Mn Fraan
- 8 J. Cardines - Messenger
- 9 R. Caramol - Plumber
- 10 F. Pagaduan - Sr. Carpenter
- 11 T. Egana - Utilityman
- 12 E. Saludar - Utilityman
- 13 R. Conge - Utilityman
- 14 F. Ampatin - Utilityman
- 15 A. Leuterio - Utilityman
- 16 C. Balangbang - Utilityman
- 17 R. Villador - Utilityman
- 18 E. Redrendo - Utilityman
- 19 V. Poliquit - Utilityman
- 20 T. Mabag - Light Eqpt Oprtr
- 21 A. Alicabo - Laborer
- 22 R. Prudenciado - Laborer
- 23 R. Dalisaymo - Utilityman
- 24 N. Permejo - Utilityman
- 25 C. Rosaupan - Utilityman
- 26 O. dela Cruz - Utilityman
- 27 A. Dayoc - Utilityman
- 28 A. Pedrera - Utilityman
- 29 P. Pontilan - Utilityman
- 30 I. Relador - Security Officer
- 31 D. Futol - Sr. Sec. Guard
- 32 F. Esperas - Security Guard
- 33 J. Montano - Auto Mechanic II
- 34 G. dela Cruz - Driver
- 35 C. Raldos - Driver
- 36 R. Raagas - Driver

B. FINANCE

- 1 M. Mabitad - Chief Accountant I
- 2 L. Domingo - Budget Officer II
- 3 E. Montebon - Cashier II
- 4 L. Cayaco - Accountant I
- 5 E. Futol - Budget Examiner II
- 6 L. Go - Bookkeeper II
- 7 A. Panes - Acctng Clerk III
- 8 G. Longjas - Sr. Clerk
- 9 R. Magallanes - Sr. Clerk
- 10 R. Rosaupan - Sr. Clerk
- 11 A. Cajipe - Clerk II
- 12 M. Gagarin - Clerk II
- 13 M. Soriano - Clerk II
- 14 A. Serna - Acctng. Clerk I
- 15 E. Sente - Photographer
- 16 C. CinCo - Messenger
- 17 I. Fabra - Budget Aide

C. RECORDS, REPRODUCTION & COMMUN.

- 1 E. Balangbang - Records Off. II
- 2 J. Redrendo - Prntg Shop Frnan
- 3 A. Pingnl - Radiophone Oprtr.

E. AUDIO, LARY SERVICE

- 1 C. Tumulad - Dormitory Mangr
- 2 S. Quinte - Food Svcs. Spvr
- 3 R. Ampatin - Utilityman
- 4 J. Montano - Utilityman

別表-2 教育機材リスト

(I) UPGRADING COURSES

Navigation Department

1)	レーダー実機		1	セット
2)	レーダーシミュレーター (W/ARPA)		1	セット
3)	電子航海援助装置		1	セット
4)	気象、海象観測装置		1	セット
5)	六分儀及水晶時計	六分儀	20	台
		水晶時計	1	セット
6)	操船シミュレーター		1	セット
7)	マグネットコンパス		1	セット
8)	船体模型	船体模型	4	セット
		船殻模型	5	セット

Engineering Department

1)	ディーゼル主機関シミュレーター		1	セット
2)	非常用発電装置		1	セット
3)	補機装置、うず巻ポンプ		1	セット
		ねじポンプ	1	セット
		歯車ポンプ	1	セット
		冷凍、空調装置	1	セット
		舵取装置	1	セット
		油圧ウィンチ	1	セット
4)	発電機用配電盤シミュレーター		1	セット
5)	プロセスコントロール装置	空気圧式制御	1	セット
		電子式制御	1	セット
6)	計測装置			
	電気電子回路実習装置		20	台
	オシロスコープ		5	セット
	メガー		5	セット
	テスター		20	台
	圧力計		1	セット
	温度計		1	セット
	流量計		1	セット
	液面計		1	セット

	インジケータ	5	台
7)	油清浄装置	1	セット
8)	機関集中監視システムシミュレーター (ディーゼル機関シミュレーターに含める)		
9)	機型 2ストローク大型ディーゼルエンジン	1	台
	大型蒸気タービン	1	台
	ガスタービン	1	台
	大型ボイラー	1	台
	推進軸	1	台
	可変ピッチプロペラ	1	台
	サイドスラスタ	1	台
	甲板機材	1	台

(2) SPECIAL COURSE

1) 消火訓練用機材

	火災警報装置	1	式
	消防装具	5	組
	消火器	40	本
	水消火装置	2	セット
	ガス検知器	2	セット

2) 救命艇訓練用機材

	救命艇	2	隻
	進水装置	2	セット
	救命いかだ	2	セット
	ライフジャケット	50	個
	ライフブイ	5	個

3) 無線電話

4) 荷油荷役シミュレーション

(3) 補助機材

1)	コピーマシン	2	台
2)	バインディングマシン	1	台

(4) 教育機材用備品

1)	機器用カウンター	1	式
2)	機器用テーブル	1	式
3)	機器用収納棚	1	式

別表-3 N M P 予 算 執 行 状 況
(相手国政府負担分)

(平成元年4月3日)
*単位:千ペソ
():前年度比

予 算 項 目	1985年度	1986年度	1987年度	1988年度	現在までの計	1989年度	1990年度
NMP全体 (一般会計)	承認	4,135	5,001 (+866)	5,892 (+891)	6,359 (+467)	8,532 (+2,173)	9,729 (+1,197)
	支出	3,233	1,175 (-2058)	6,126 (+4,951)	5,772 (-354)	16,306	
維持管理費	承認	1,566	1,926 (+360)	2,153 (+227)	2,369 (+216)	7,627 (+5,258)	9,121 (+1,494)
	支出	1,219	1,175 (-44)	2,153 (+978)	2,356 (+203)	6,903	
資本投下費	承認	3,342	6440 (+3,098)	0 (-6,440)	2,987 (+2,987)	9,759	0
	支出	1,585	0 (-1,585)	0 (+0)	2,292 (+2,292)	3,877	
一般会計合計	承認	9,043	13,367 (+4,324)	8,045 (-5,322)	11,715 (+3,670)	42,170	18,850 (+2,536)
	支出	6,037	2,350 (-3,687)	8,279 (+5,929)	10,420 (+2,141)	27,086	
(FAP) 基盤整備費	0	0	0	2,200 内訳: 寮建設 フェンス 整地	22,000	25,000 内訳: 聴岸工事 ホール建 設 機材購入	45,000 内訳: 寮建設 整地 機材購入
NMP 予算総計	承認	9,043	13,367 (+4,324)	8,045 (-5,322)	33,715 (+25,670)	64,170	63,850 (+22,536)
	支出	6,037	2,350 (-3,687)	8,279 (+5,929)	33,420 (+25,141)	50,086	

- 備考: ① 90年度予算は申請額であり、予算委員会における聴聞会が4～5月に開催される予定にある。
 ② 88年度の基盤整備費は、事務書類上(入札手続)の遅れにより89年6月最終入札終了後実施される見込である。
 ③ 87年までは教育省からの予算割当を受けていたが、88年度以降は行政混同期により発生したものと予想される。
 ④ 86年度における予算の減額支出は政権交代後の行政混同期により発生したものと予想される。
 ⑤ FAP 枠は海外からの協力期間中のみ申請が可能(90年度は日側延長期間により左右される)。

モジュール名 (下段:担当門番名/教員名)	開講時期	印刷期間	教科書完成	視聴覚教材完成	C/Pへの技術移転度	指導マニュアル完成	メモ	備考
航海 PRACTICE OF NAVIGATION/COMPASSES 土橋/松本・三浦(3/M) 新井・山本(2/M)	1986年 9月05日	10日間 但半日5-A	印刷中		95%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
海上 AIDS TO NAVIGATION/METEOROLOGY 早船/佐々木・三浦(3/M) 新井・山本(2/M)	1986年 10月03日	10日間 但半日5-A	原簿作成中	既存VTR フィルム利用	フィルムに 対して40%	VTR-未定 7-57R-未定		
上級 ELECTRONICS NAVIGATION SYSTEM 佐々木/三浦・山本(3/M)	1986年 7月30日	20日間 但半日5-A	1989年 完成済	既存VTR フィルム利用	90%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
SHIP STABILITY/TRAIN/CONSTRUCTION 早船/三浦・山本(3/M)	1986年 10月03日	10日間 但半日5-A	1989年 完成済		90%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
SAFE CARGO STORAGE 佐々木/三浦・山本(3/M)	1986年 10月15日	10日間 但半日5-A	1987年 完成済		90%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
SHIP HANDLING/MANUEVERING 佐々木/三浦・山本(3/M)	1986年 7月30日	20日間 但半日5-A	1987年 完成済	既存VTR フィルム利用	90%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
RADAR OBSERVER (R.O.C.) 早船/三浦・山本(3/M)	1986年 9月05日	5日間		既存VTR フィルム利用	90%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
RADAR SIMULATOR (R.S.C.) 早船/三浦・山本(3/M)	1986年 9月19日	5日間		既存VTR フィルム利用	現行 7-57R-未定	VTR-未定 7-57R-未定		
AUTOMATIC RADAR PLOTTING AID 早船/三浦・山本(3/M)	1986年 9月17日	5日間		既存VTR フィルム利用	現行 7-57R-未定	VTR-未定 7-57R-未定		
DANGEROUS GOODS COURSE 土橋		5日間			適当な人材の補充され る 6%	VTR-未定 7-57R-未定		開講実績無
TANKER SAFETY COURSE 土橋/三浦・山本(2/M)	1986年 11月24日	5日間	原簿作成中	既存VTR フィルム利用	10%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
TANKER OPERATION/CARGO HANDLING 土橋/三浦・山本(2/M)	1986年 10月16日	10日間	添削が 不要 1987年 完成済	既存VTR フィルム利用	85%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
ELECTROTECHNOLOGY 御幸/三浦・山本(2/M)	1986年 7月31日	10日間	1987年 完成済	既存VTR フィルム利用	70%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
MARINE ELECTRICITY 御幸/三浦・山本(4/E)	1986年 2月27日	10日間	1987年 完成済	既存VTR フィルム利用	50%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
AUXILIARY SYSTEM 松波/三浦・山本(4/E)	1986年 8月20日	5日間	1989年 完成済	既存VTR フィルム利用	終了	VTR-未定 7-57R-未定		
HYDROMECHANICS 松波/三浦・山本(4/E)	1986年 9月10日	5日間	1987年 完成済	既存VTR フィルム利用	終了	VTR-未定 7-57R-未定		
STEAM PLANT 松波/三浦・山本(4/E) & 三浦・山本(4/E)	1986年 10月22日	5日間	1989年 完成済	既存VTR フィルム利用	7-ライ 80% キネス 30%	VTR-未定 7-57R-未定		
DIESEL PROPULSION 松波/三浦・山本(4/E)	1986年 10月01日	15日間	1989年 完成済	既存VTR フィルム利用	終了	VTR-未定 7-57R-未定		
CONTROL ENGINEERING 御幸/三浦・山本(4/E)	1986年 9月17日	10日間	1987年 完成済	既存VTR フィルム利用	85%終了	VTR-未定 7-57R-未定		
REFRIGERATION 松波/三浦・山本(4/E)	1986年 11月4日	5日間	1987年 完成済	既存VTR フィルム利用	80%終了	VTR-未定 7-57R-未定		

別表-5 供与機材活用状況

供与機材名	台数	使用度			カウンターパートの操作保守能力			備考
		A	B	C	A	B	C	
Rain Gauge	1		×		×			
Facsimile Receiver	1	×			×			
Anemometer	1		×		×			
Barometer (Mercurial)	1		×		×			
Barometer (Aneroid)	1		×		×			
Ship's Master Clock	1		×			×		
Handset Portable Radios	20		×		×			
Portable Radio Charger	10		×		×			
VHF Radio Telephone	1							
UHF - FM Radio Telephone	1							
Rectifier Unit	1							
Wet and Dry-Bulb Thermometer	1		×			×		
Tamaya Calculator	20		×			×		
Sextant Marine	20	×			×			
Marine Chronometer	1		×		×			
Marine Stop Watch	2		×		×			
Life Raft	4	×			×			
Lifeboat	2	×			×			
Portable Fire Pump	2	×			×			
Air Compressor (installed)	1	×			×			
Compressed Air Breathing Apparatus	5	×			×			
Resuscitator	1	×			×			
Fresh Air Breathing Apparatus	2	×			×			
Firefighting (portable)	16	×			×			Foam
- do -	17	×			×			Dry Chemical
- do -	3	×			×			CO2
Firefighting Suit (Proximity)	4	×			×			
Lifebouy	5	×			×			
Life Jackets	50	×			×			
Line Throwing Appliance	1	×			×			
Signaling Lamp	2	×			×			
Screw Pump Unit	1	×			×			
Starter for Screw Pump Unit	2	×			×			
Oil Tank	1	×			×			
Oil Heater	1	×			×			
Flow Meter	1	×			×			
Spare Pump Stand	1	×			×			
Portable Air Compressor	1	×			×			
Hydraulic Circuit Test Stand	1	×			×			
Screw Pump	1	×			×			

評価基準
 使用度
 A: 訓練に非常に有効に活用している。
 B: 訓練に活用している。
 C: 訓練にあまり活用されていない。

カウンターパートの操作保守能力
 A: 操作方法を確実に修得し、応用が可能
 B: 基本操作方法を修得
 C: 操作できない
 (協力期間内に指導できるか否かを備考欄に注記する。)

供与機材活用状況

供与機材名	台数	使用度			カウンターパートの操作保守能力			備考
		A	B	C	A	B	C	
X-Y Recorder	1		×			×		
Printer	1		×			×		
Interface for Video Recorder	1	×			×			
Blank Tapes	3							
Echo Generator	1	×			×			
Coastline Generator	1	×			×			
Digital Computer	1	×			×			
Automatic Voltage Regulator	1	×			×			
Topography Editing Unit	1				×			
Intercommunication System	1	×			×			
Interconnection Cables	1							
Maneuvering Board	2	×			×			
Loran - C Navigator	1	×			×			LC-80
Loran - C Navigator	1	×			×			LC-70
Color Video Plotter	1	×			×			
Decca Navigator	2	×			×			
Decca Track Plotter	1	×			×			
Omega Receiver	2	×			×			
Satelite Navigator	1	×			×			
Course Plotter	1	×			×			
Radio Direction Finder	1	×			×			FD-181
Radio Direction Finder	1	×			×			FD-120A
Echo Sounder	1	×			×			
Digital Depth Indicator	1	×			×			
Doppler Sonar Display	1	×			×			
VHF Radio Telephone	1	×			×			
Navigational Signal Generator	1	×			×			
Computer Console w/ Display Terminal	1	×			×			
VHF Radio Telephone	1	×			×			
Printer	1	×			×			
Tape Recorder w/ AC Power Adaptor	1							
Automatic Voltage Regulator	1							
CVCF for Computer Back-Up	1							
Radar X-Band	1	×			×			
Radar S-Band	1	×			×			
Magnetic Compass	1	×			×			
Transmitting Magnetic Compass	1							
Radar Echo Payback	1	×			×			
Hygro Meter	1		×		×			
Barograph	1		×		×			

評価基準

使用度
 A: 訓練に非常に有効に活用している。
 B: 訓練に活用している。
 C: 訓練にあまり活用されていない。

カウンターパートの操作保守能力
 A: 操作方法を確実に修得し、応用が可能
 B: 基本操作方法を修得
 C: 操作できない
 (協力期間内に指導できるか否かを備考欄に注記する。)

供与機材活用状況

供与機材名	台数	使用度			カウンターパートの操作保守能力			備考
		A	B	C	A	B	C	
Cargo Oil Pump Control	1	×			×			
Stripping Pump & Ballast Pump Control	1	×				×		
Tank Cleaning Machine (Twin Nozzle)	1	×			×			
Tank Cleaning Machine (Single Nozzle)	1	×			×			
Control Unit Tank Cleaning Machine	1		×		×			
Piping Diagram Panel	4	×			×			Self Stripping System
Step Ladder	1	×			×			
Air Compressor	1	×			×			w/Cable & Air Hose
Terminal Box	1	×			×			
Water Tank w/ Level Gauges	1	×			×			
Control Stand for Level Gauges	1	×			×			
Hydraulic Power Unit	1	×			×			
Solenoid Valve Unit	1	×				×		
Hand Pump Unit	1	×			×			
Sluice Valve	1	×			×			
Butterfly Valve	1	×			×			
Hand Drum Pump	1		×		×			
Hydraulic Oil Line	9	×			×			
Air Line	5		×		×			
Elect. Line	8	×			×			
Daikin Air Conditioned System	2	×			×			
Fire Extinguisher	1	×			×			
Simulator Operation Manuals	184	×			×			Cargo Handling
Hydraulic Oil Drums	2		×		×			
Print Papers	10	×			×			
EQUIPMENT								
Motor Generator (DG1)	1	×			×			
Motor Generator (DG2)	1	×			×			
Motor Generator (IG)	1	×			×			
Local Control Panel	1	×			×			
Main Switch Board	1	×			×			
Generator Control Console	1	×			×			
Instructor's Console	1	×			×			
Bridge Console	4	×			×			
Own Ship Radar Display Unit	4	×			×			
ARPA Display Unit	4	×			×			
Repeater Display Unit	4	×			×			
Instructor's Console	1	×			×			w/ Display Terminal
Monitor Display Unit	1	×			×			

評価基準

使用度

- A: 訓練に非常に有効に活用している。
- B: 訓練に活用している。
- C: 訓練にあまり活用されていない。

カウンターパートの操作保守能力

- A: 操作方法を確実に修得し、応用が可能
- B: 基本操作法を修得
- C: 操作できない
(協力期間内に指導できるか否かを備考欄に注記する。)

供与機材活用状況

供与機材名	台数	使用度			カウンターパート の操作保守能力			備 考
		A	B	C	A	B	C	
<u>MACHINERY MODEL</u>								
(MODEL)								
2 Storage Large Diesel Engine	1		X		X			
Large Steam Turbine	1		X		X			
Large Boiler	1		X		X			
Gas Turbine	1		X		X			
Side Thruster	1		X		X			
Controllable Pitch Propeller	1		X		X			
Shafting and Propeller	1		X		X			
(PANEL)								
2-Stroke Diesel Engine	1		X		X			IHI, GRTA58
- do -	1		X		X			- do -
- do -	1		X		X			IHI, GRTA76
- do -	1		X		X			IHI, 8RND90M
2-Stroke Diesel Engine	1		X		X			IHI, 5RLA56
4-Stroke Diesel Engine	1		X		X			SENT (Pielstock) FC2-6
4-Stroke Diesel Engine	1		X		X			SENT (Pielstock) FC4-2
Large Main Boiler (PROFILE)	1		X		X			
Marine Auxiliary Boiler (PROFILE)	1		X		X			
Large Steam Turbine (PROFILE)	1		X		X			
- do -	1		X		X			
Marine Gas Turbine	1		X		X			
General Arrangement (w/ side-Thruster)	1		X		X			
Marine Gas Turbine (PROFILE)	1		X		X			
Controllable Pitch Propeller	1		X		X			
Dwg. of Shafting	1		X		X			
Dwg. of Propeller	1		X		X			
Cut Model of Turbo-Charger	1		X		X			IHI-BEC-VIR
Yanmar 4 Stroke, Diesel Engine	1		X		X			
Shelves	1		X		X			
<u>ITEM</u>								
Cargo Oil Control Console	1	X				X		
Inert Gas Control Console	1	X			X			
Loading Computer	1	X				X		
Pump Board Stand	1	X			X			
Mimic Diagram Display Unit	1	X			X			
Instructor Console	1	X				X		
Computer	1	X			X			
System Typewriter	1	X			X			
CVCF	1	X			X			

評価基準

使用度

- A: 訓練に非常に有効に活用している。
- B: 訓練に活用している。
- C: 訓練にあまり活用されていない。

カウンターパートの操作保守能力

- A: 操作方法を確実に修得し、応用が可能
- B: 基本操作法を修得
- C: 操作できない
(協力期間内に指導できるか否かを備考欄に注記する。)

供与機材活用状況

供与機材名	台数	使用度			カウンターパートの操作保守能力			備考
		A	B	C	A	B	C	
Oil Tank	1							
Starter Slant Control Panel	1							
Circuit Panel	1							
Hydraulic Oil Motor Test Stand	1	×			×			
Hydraulic Hose Pack	1	×			×			
Education Plate	12	×			×			
Panel for Hydraulic Circuit	3	×			×			
Equipment Panel	1	×			×			
Hydraulic Pump	1	×			×			
Hydraulic Screw Pump Tank	1	×			×			
Hydraulic Circuit Trainer	1	×			×			w/ Accessories
Transformer for Humidifier	1	×			×			
Humidifier	1	×			×			
Oil Purifier (MITSUBISHI KAKOKI)	1	×			×			
Starter for Oil Purifier	1	×			×			
Purifier Control Panel	1	×			×			
Oil Heater for Purifier	1	×			×			
Control Panel for L.O. Heater	1	×			×			
Lube Oil Settling Tank	1	×			×			
Lube Oil Service or Storage Tank	1	×			×			
Lube Oil Sludge Tank	1	×			×			
Operating Water Tank (HP, LP)	2	×			×			
Purifier Cleaning Table	1	×			×			
Cut Model of Purifier Bowl	1	×			×			
Oil Transfer Pump (Portable)	1	×			×			
Portable Air Compressor	1	×			×			
Humidifier (National)	1	×			×			
Transformer for Humidifier	1	×			×			
Hull Const. (Bulk Carrier) Model	1		×		×			
Hull Const. (Tanker) Model	1	×			×			
Hull Const. (Container Model)	1		×		×			
Tanker Ship Model, Scale 1/150	1	×			×			
Container Ship Model	1	×			×			Visayas Scale 1/200
Bulk Carrier - Leyte	1	×			×			
General Cargo Ship Model	1	×			×			
Scanner Filter	1	×			×			
Scanner	1	×			×			
Book Binder	1							
TV, VHS - Hitachi	1	×			×			
VHS Player - Hitachi	1	×			×			

評価基準
 使用度
 A: 訓練に非常に有効に活用している。
 B: 訓練に活用している。
 C: 訓練にあまり活用されていない。

カウンターパートの操作保守能力
 A: 操作方法を確実に修得し、応用が可能
 B: 基本操作法を修得
 C: 操作できない
 (協力期間内に指導できるか否かを備考欄に注記する。)

別表-6 N M P T C 訓練生受講実績

平成元年 4, 現在

I. 科目別別 (総員数)

	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	TOTAL
船内航海向上訓練科目	0	0	0	9	108	245		
機関室航海向上訓練科目	0	0	0	13	44	71		
特殊航海訓練科目 (タンカー・コース)	0	0	0	5	17	115		
SOLAS	1196	1539	471	214	213	241	150	4024
機器修習熟コース	0	0	0	4	73	47		

II. モジュール別受講者数:

協力開始後の受入人数

DECK DEPARTMENT:

Practice of Navigation	5	25	36	12	78	
Aids to Navigation	6	25	32	5	68	
Electronics Navigation	5	28	33	7	73	
Ships Stability/Construction	3	12	26	5	46	
Safe Cargo Handling	-	-	11	20	3	34
Ship Handling Maneuvering	5	11	15	4	35	
Radar Observer Course (ROC)	3	13	57	23	96	
Radar Simulator Course (RSC)	2	1	62	37	102	
Automatic Radar Plotting Aid (ARPA)	-	-	37	151	31	219
RSC & ARPA	5	24	--	--	29	

モジュール合計 (年別)

ENGINE DEPARTMENT:

Electrotechnology	3	12	31	11	57
Marine Electricity	5	21	37	17	80
Auxiliary Systems	5	15	18	8	46
Hydromechanics	4	12	20	7	43
Steam Plant	1	4	7	8	20
Diesel Propulsion Plant	7	19	27	2	55
Control Engineering	2	11	41	15	69
Refrigeration & Airconditioning	4	12	13	4	33

モジュール別合計 (年別)

SPECIAL COURSES (TANKER):

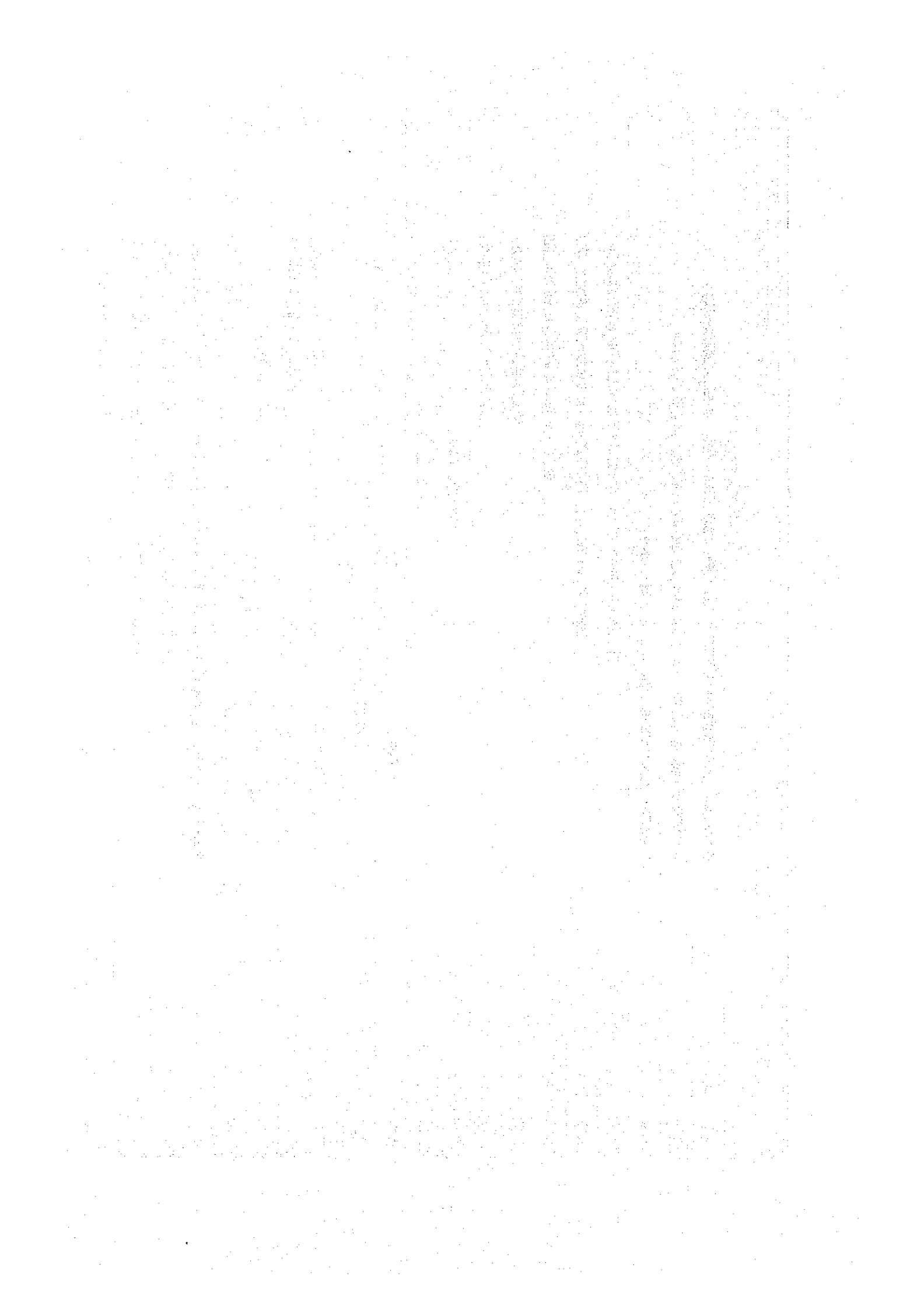
Tanker Safety Course	5	17	107	62	191
Tanker Cargo Handling Course	-	-	16	11	27
モジュール別合計 (年別)	5	17	123	73	218

: 在職期間
 : フイリビナス乗船
 : 民間用船乗船

別表-7 カウンターパート配置表

カウンターパート氏名	1985					1986					1987					1988					1989																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
航海 アレックス・キランタン																																					
航海 ジュード・コルテス																																					
航海 ロメル・ガクタン																																					
航海 マニュエル・デ・レオン																																					
航海 ジェニス・ムラロス																																					
航海 エデュアルド・コルデロ																																					
航海 デニス・タン																																					
航海 アドリアノ・ドミニセ																																					
航海 ナルシソ・モンテリア																																					
航海 ホニト・カムカム																																					
航海 ワルサー・マオ																																					
航海 エドガード・パネス																																					
航海 エンリケ・アクビンビン																																					
航海 パブプロ・ヴィダル																																					
タンカー ホセリト・エルム																																					
タンカー ルシアノ・ブリオネス																																					
タンカー エマニュエル・ラギタン																																					
タンカー プルノ・ランブレア																																					
航海 フェルディナンド・ゴ																																					

カウンターパート氏名		1985	1986	1987	1988	1989
機関	ノエル・ハボス	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	ジョージ・ファチュアー	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	ウイリソン・トラビニア	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	イルミナド・ヒナグビス	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	ペドロ・ミリタンテ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	ティルゾ・プーライ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	アルフレッド・ツウラ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	クラロ・コスコス	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	ジェラルド・パディー	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	ホセ・デロス・サントス	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	エデリト・パラスバス	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	レグロ・ナヨナ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	グニロ・キン	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	ロバート・アランジア	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	マキシミノ・イラン	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
機関	マリオ・ギネス	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
保守	エルマー・バンダエ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
保守	エルバート・センテ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
保守	レイナルド・タスタス	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
保守	ヘクター・イグナシオ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]



附 属 资 料

フィリピン国立航海技術訓練所

評価調査団収集資料

調査団派遣期間：平成元年4月10～20日

(ただし、MINUTES及びOWWA-MOAを除く)

資 料 目 録

1. NMP組織関連

- 1-1 設立当時の経緯
- 1-2 組織図及び職員配置表(教官を含む)
- 1-3 BOTメンバー表
- 1-4 BOT開催実績
- 1-5 BOT AGENDA
- 1-6 4/13 BOT AGENDA(比側評価報告書
及び新規コース開設プロポーザルを含む)
- 1-7 4/13 BOT MINUTES

2. プロジェクト実施状況

- 2-1 T/C実施状況
- 2-2 訓練実績及び計画
- 2-3 訓練受講料
- 2-4 比側予算執行状況
- 2-5 比側インフラ負担実績

3. 人事配置

- 3-1 管理要員配置表
- 3-2 教職配置状況
- 3-3 C/P配置実績
- 3-4 C/P業務状況
- 3-5 C/P研修実績
- 3-6 C/P育成状況・技術移転度・指導能力評価・教科書作成状況

4. その他

- 4-1 比側R/D修正提案
- 4-2 87年度調査団ミニッツと現状の比較
- 4-3 MARINA MC#41-A 及びSTCW裏書証書発給
- 4-4 OWWA訓練ローン申請条件及び組織の説明
- 4-5 NMP既受講生アンケート結果
- 4-6 比国海運雇用状況(POEA提供資料)

II. The NMP: 1980 to 1985, Inclusive

A. Accomplishments

The National Maritime Polytechnic was created on May 1, 1978 with the signing of PD 1369. It started its operation in 1979, with a meager P236,300 transferred funds from the National Seamen Board. Said funds were released only during the first quarter of 1980 in addition to the P2.5 million budgetted 1980 allotment for NMP.

Out of the projected P567 million needed to implement the 1980 to 1985 NMP five year development plan, only 18% of the plan could be realized since the NMP was allotted only a total amount of P36 million for the years 1980 to 1985. From then up to 1985, the agency's thrusts have been mainly towards capital build-up, i.e. infrastructure and acquisition of training equipment. Manpower recruitment and development had been hampered due to internal and external factors.

Since 1979, NMP has been supervising private maritime institutions who are offering ROC and RSC. At this time, the NMP staff were "borrowed" from the National Seamen Board, and were given honoraria for performing additional functions.

In 1980, a 16 hectare lot was acquired in Barangay Cabalawan, Tacloban City, which was to be the site of the planned NMP Training Complex. In Manila, only twenty regular plantilla items were released for NMP. To meet the needs for more manpower resources and to strengthen the twenty regular plantilla employees, NMP tapped for technical experts and hired them as consultants.

The years 1980, '81 and '82 were spent in working for NMP's autonomy and as an independent institution. The Presidential Reorganization Commission signed its approval for the NMP to be established as a separate agency on 22 September 1982.

In 1981, a loan agreement was signed by the Philippines and Denmark for an acquisition of a 28,000 dwt training-cargo vessel, the MS Filipinas. The acquisition of the ship is a vital factor in NMP's training programs, actual sea duty being an integral part of said programs. The ship is adequately provided with training equipment in the form of actual shipboard machinery, equipment and simulators. In the absence of regular plantilla professorial items, the agency succeeded in 1983 in requesting for 14 contractual professors who were sent to Denmark as DANIDA scholars and who eventually boarded the MS Filipinas to compose the training manpower complement.

The MS Filipinas, however, has not been able to train the maximum number of trainees due to the cost of repatriation. The number of students who underwent training onboard MS Filipinas has not reached one half of the total capacity of 240.

The years 1982, and '83 were hard years of negotiations with the Office of Budget and Management for the release of 237 positions including the position for President. By the 3rd quarter of 1983, the OBM signified to release 110 out of the 237 requested plantilla

positions inclusive of the position of President, all to be funded in 1984, in addition to the original twenty plantilla items of the agency. The provisions approved did not include the items for the EVP and the three VPs. As per approved NMP structure by the PCR and translated by the Management Office, the positions next in rank to the president are that of three professors who were to head the Training division, the PRPD division, and the Administration and Finance division. As of to date, the OBM has not yet modified its stand regarding the agency's organizational structure.

Since 1983, it has been offering STCW-SOLAS Courses in Tacloban City, composed of Fire Fighting, Survival at Sea, Ship's Medicine, Proficiency in Survival Craft, and Maritime Leadership and Behavior Development.

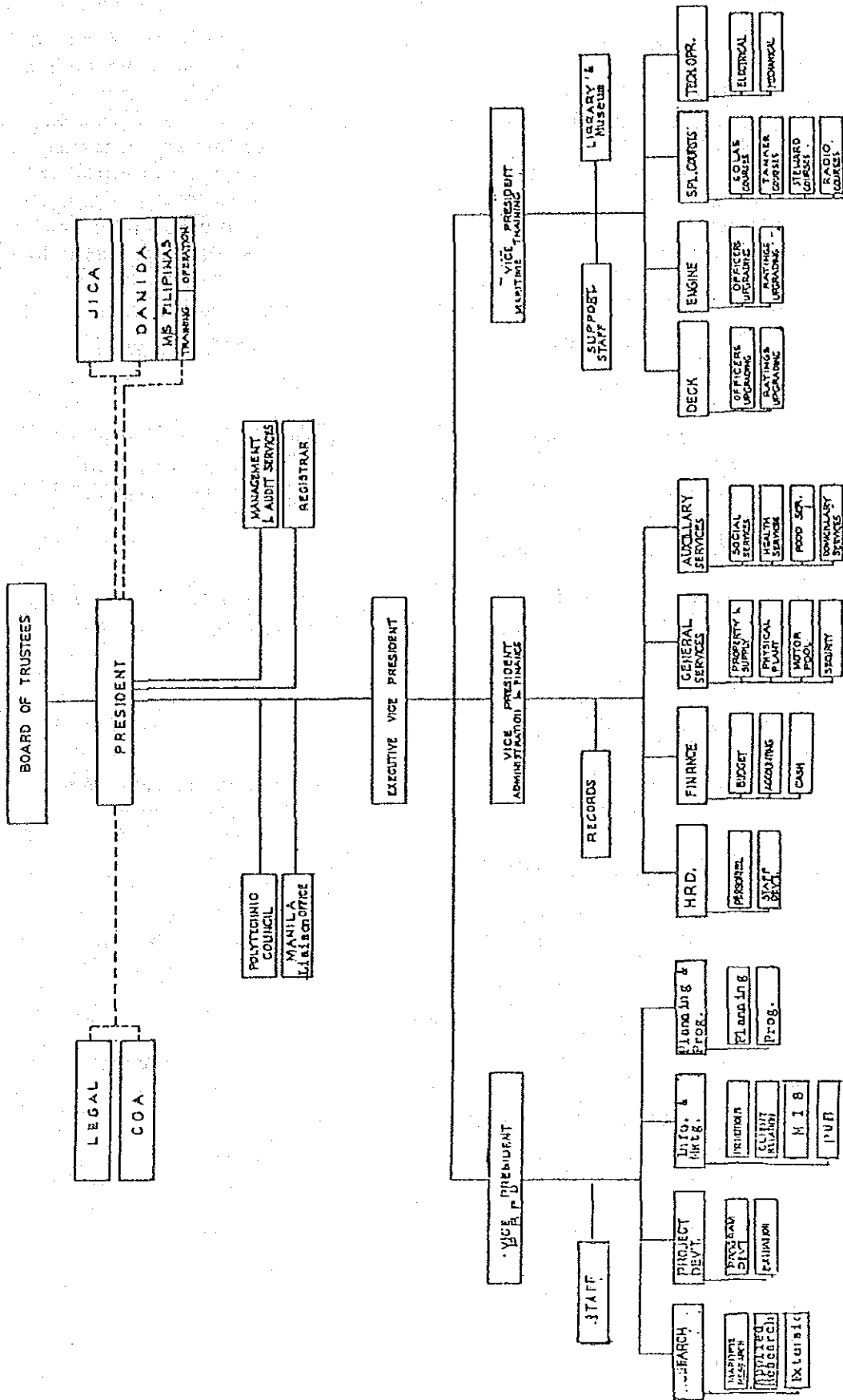
In 1984, NMP successfully negotiated for a grant-aid from the Japanese government through the Japanese International Cooperation Agency (JICA) for the expansion and modernization of its training complex in Tacloban City. The grant-aid involved the construction of the most modern training equipment, and the provision of technical assistance.

In 1985, the NMP had a total of six school buildings with four classrooms each, to accommodate a maximum of 50 students per classroom. A dormitory for ratings and a canteen had been completed for the use of all enrolled trainees and some NMP employees. Likewise, four staff houses have already been completed in 1985. These staff houses are used by some NMP officials and staff.

An additional 57 plantilla positions had been approved by the OBM, late 1985, to be funded in 1986. NMP now has a total of 187 regular plantilla positions.

The groundwork for international recognition has also been laid with the accreditation of NMP courses by UK-based International Association of Navigation Schools, Association of Marine Engineering Schools, and the Liberian Maritime Affairs. Maritime researches had been conducted by the institution to strengthen its curriculum development program. One prominent research study was on the Profile of the Filipino Seaman, which attempted to establish the personality, intelligence quotient, the work experience, educational qualifications and the sociodemographic characteristics of Filipino seamen.

PROPOSED NMP ORGANIGRAM



Approved by the Board of Trustees on March 29, 1989 to take effect on April 1, 1989

NMP Manila Liaison Office:

VP/PRPD/ OIC, Manila Office
Professor
Asso. Professor
Sci. Res. Splist. I
Registrar
Disbursing Officer
Clerk II
Messenger
Messenger

- Antonio, Alfredo C.
- Cagulada, Remedios C.
- Sevilla, Rosana R.
- Factuar, Diana C.
- Valencia, Cristina R.
- Bucad, Josefina A.
- Acevedo, Virginia O.
- Montoya, Armando B.
- Dalisaymo, Eduardo C.

Office of the President

Sr. Executive Asst.

- Cagara, Felisa P.

A. Mgmt. & Audit Services:

Sr. Mgmt. & Audit Analyst
Mgmt. & Audit Analyst
Jr. Mgmt. & Audit Analyst

- Beringuel, Ronico
- Majadillas, Rene
- Saranza, Marimel

. Registrar (Tacloban):

Asso. Professor
Illustrator

- Canono, Evelyn P.
- Garsula, Nelson

B. PRPD

Research Division:

Sci. Res. Asst. II
Sci. Res. Asst. I

- Mendoza, Lourdes S.
- Marquez, Rowena

Proj. Dev't Division

Sr. Dev't Proj Coordinator
Dev. Proj. Evaluator
Draftsman

- Abella, Bayani
- Medalla, Allan
- Tuazon, Paul

Planning & Proj. Division

Sup. Edu. Researcher

- Ayaso, Grace T.

Information & Marketing

Photographer
Messenger

- Butad, Evelyn
- Colitana, Rodolfo

C. Admin & Finance : Vice Pres., Admin & Finance - Nicanor, Anthony

Administrative Officer - Umipig, Benjamin A.

Records Division

Records Officer - Balangbang, Eufemia

H R D

Personnel:

Personnel Officer II - Cuesta, Florecita
Sr. Personnel Aide - Marcos, Ma. Armenia

Staff Dev't:

Training Specialist - Erpe, Dalisay
Training Officer - Milado, Flor
Clerk II - Penalosa, Sarah
Messenger - Dolina, Arnulfo
Messenger - Briana, Cirilo

Finance:

Budget

Budget Officer - Domingo, Lauro
Budget Examiner - Futol, Evelyn
Sr. Clerk - Rosaupan, Rita
Sr. Clerk - Magallanes, Regenita

Accounting

Chief Accountant - Mabitad, Margie
Accountant I - Cayaco, Mirasol
Bookkeeper - Go, Lilibeth
Acctg. Clerk III - Graniten, Agnes
Sr. Clerk - Lonjas, Gerlina
Messenger - Cinco, Chadwick

Cash

Cashier - Montebon, Erma
Clerk II - Gagarin, Gina
Clerk II - Soriano, Mary-Ann

General Services:

Administrative Asst./Head

- Campo, Brigida

Property & Supply:

Supply Officer III

- Gunabe, Remegio

Clerk II

- Lagramada, Roy

Physical Plant :

Bldg. Maint. Foreman

- Pedrera, Ame

Messenger

- Cardines, Jose

Plumber

- Caramol, Rodolfo

Sr. Carpenter

- Pagaduan, Felipe

Utilityman

- Saludar, Editha

Utilityman

- Conge, Renato

Utilityman

- Ampatin, Fermin

Utilityman

- Leuterio, Antonio

Utilityman

- Villador, Rolando

Utilityman

- Balangbang, Cisanto

Utilityman

- Dalisaymo, Rodel

Utilityman

- Bermejo, Nelson

Utilityman

- Rosaupan, Claro

Utilityman

- de la Cruz, Oscar

Utilityman

- Dayoc, Alfredo

Utilityman

- Pedrera, Adel

Utilityman

- Pontilan, Prospero

Light Equipment Optr.

- Mabag, Teodoro

Laborer

- Alicabo, Arnel

Laborer

- Prudenciado, Rogelio

Motorpool & Machine Shop:

Printing Shop Foreman

- Redrendo, Juanito

Auto Mechanic II

- Montano, Jose

Driver

- de la Cruz, Guillermo

Driver

- Baldos, Cesar

Messenger

- Bantugan, Victor

Clerk II

- Mazo, Restituto

Security:

Sr. Security Guard

- Futol, Danilo

Security Guard

- Esperas, Francisco, P

D. MARITIME TRAINING:

VP, Mar Trng
Professor
Clerk II
Messenger

- Campo, Exequiel
- Beringuel, Rosita
- Tumalad, Cecilia
- Gariando, Romeo

Library & Museum

Professor
Sr. Librarian
Library Aide

- Cinco, Exaltacion
- Adlawan, Grace
- Benson, Reynalda C.

Engine Dept.:

Professor
Professor
Professor
Professor
Asso. Professor
Asso. Professor
Asst. Professor
Asst. Professor
Instructor
Instructor

- Japos, Noel T.
- Factuar, Jorge S.
- Travina, Wilson P.
- Hinagpis, Iluminado
- Militante, Pedro
- Puray, Tirso
- Guinez, Mario N.
- Turla, Alfredo
- Arandia, Robert
- Coscos, Claro L.

Mechanical Plant Optr. II
Mechanical Plant Optr.
Clerk II
Clerk II

- Balangbang, Jaime
- Mañaclong, Gonzalo
- Gler, Monica
- Macariola, Bleselda

Deck Department :

Professor
Professor
Professor
Professor
Asso. Professor
Asst. Professor
Asst. Professor
Asst. Professor
Instructor
Clerk II
Clerk II

- Cortez, Jude
- Murallos, Genis
- de Leon, Manuel
- Gacutan, Rommel
- Tan Dennis
- Montilla, Narciso
- Dominise, Adriano, Jr
- Laguitan, Jesus
- Go, Ferdinand
- Malate, Rowena
- Dolina, Zenaida

Special Package Course:

Professor
Asst. Professor
Asst. Professor
Asst. Professor
Asst. Professor
Instructor
Instructor
Instructor
Instructor
Instructor
Instructor
Instructor

- Erum, Joselito
- Brasileno, Gil
- Almonte, Dominador
- Salinas, Crispo
- Esquibel, Melba
- Aquino, Jesus
- de la Flor, Restituto
- Nieto, Teofilo
- Rosete, Zacarias
- Bitago, Dominador
- Idio, Filomeno
- Nisperos, Mariano

Maintenance/Technical Operations:

Professor
Asso. Professor
Asso. Professor
Instructor
Shop Electrician

- Pangué, Elmer
- Sente, Elbert
- Tanudtanud, Reynaldo
- Ignacio, Hector
- Arcena, Arturo

NMP Board of Trustees:

Undersecretary ANTONIO G. HECHANOVA	- DOLE (Chairman)
Captain GREGORIO S. OCA	- AMOSUP
Administrator PHILIP S. TUAZON /MR. ABELARDO VIRAY	- MARINA
Commodore PIO H. GARRIDO	- PCG
Director NILO L. ROSAS	- DECS
Dr. MARY LOU ARCELO	- PAMI
Mr. CARLOS SALINAS	- FSA
Deputy Administrator CRESCENCIO M. SIDDAYAO	- POEA
Director ROMEO ESCANDOR	- NEDA (Region 3)

NMP BOARD MEETINGS

	<u>Date</u>	<u>Time</u>	<u>Venue</u>
1.	April 27, 1979	2:00 P.M.	Holiday Inn
2.	Aug. 3, 1979	4:00 P.M.	Crimson Room. Army & Navy Club of Manila
3.	Oct. 2, 1979	12:00 P.M.	- do -
4.	March 13, 1980	12:00 P.M.	- do -
5.	Nov. 26, 1982	7:30 A.M.	Exec. Rm. #1 Meralco Lighthouse, Ortigas
6.	April 23, 1984	8:00 A.M.	Crimson Room, Army & Navy Club, Manila
7.	April 22, 1985	12:00 P.M.	- do -
8.	Aug. 23, 1985	8:00 A.M.	- do -
9.	Oct. 7, 1985	12:00 P.M.	- do -
10.	Feb. 19, 1986	12:00 P.M.	- do -
11.	May 15, 1986	12:00 P.M.	- do -
12.	Aug. 18, 1986	12:00 P.M.	- do -
13.	Nov. 13, 1986	12:00 P.M.	- do -
14.	Feb. 10 1987	11:30 A.M.	- do -
15.	Dec. 11, 1987	12:00 P.M.	AMOSUP
16.	Jan. 21, 1988	12:00 P.M.	JORAMA Restaurant
17.	March 10, 1988	12:00 P.M.	JORAMA Restaurant
18.	May 12, 1988	12:00 P.M.	- do -
19.	June 20, 1988	2:00 P.M.	- do -
20.	Aug. 17, 1988	9:30 A.M.	NMP Tacloban
21.	Sept. 21, 1988		NMP Tacloban
22.	Nov. 10, 1988	11:00 A.M.	AMOSUP
23.	Jan. 21, 1989	12:00 P.M.	AMOSUP
24.	Feb. 21, 1989	12:00 P.M.	JORAMA Restaurant
25.	March 29, 1989	12:00 P.M.	JORAMA Restaurant

Meeting of the Board of Trustees
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC

DATE : 10 November 1988 Thursday
 TIME : 11:00 a.m.
 PLACE : AMOSUP Seamen's Center

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
A	Call to Order	
B	Determination of Quorum	
C	Reading and Approval of the Minutes of the Board Meeting dated September 21, 1988	
D	Business Arising from the Minutes	
E	Committee Report	Information
F	CORPLAN 1989	Information
G	Schedule of Classes for 1989	Approval
H	Report on M/S Filipinas	Information
I	Personnel Benefits	Approval
J	Other Matters	
K	Adjournment	

A G E N D A

Meeting of the Board of Trustees
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC

DATE : 17 August 1988
TIME : 9:30 a.m.
PLACE : NMP Tacloban City

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
A	Call to Order	
B	Determination of Quorum	
✓ C	Reading and Approval of the Minutes of the Board Meeting dated 20 July 1988	
D	Business Arising from the Minutes	
× E	Calma Report	Recommendation
× F	DANIDA Mission Evaluation Report, February 1988	Recommendation
G	Committee Reports	
	1. Search Committee Report	Approval
	2. NMP Organizational Structure	Approval
✓ H	President's Report:	
	Mid-Year Performance Assessment Report	Information
✓ I	Other Matters	
J	Adjournment	

A G E N D A

Meeting of the Board of Trustees
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC

DATE : 20 June 1988
TIME : 2:00 p.m.
PLACE : Jorama Restaurant

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
A	I. Call to Order II. Determination of Quorum III. Reading and Approval of the Minutes of the Board Meeting dated 19 May 1988 IV. Business Arising from the Minutes	
B	Designation of OIC for NMP	Approval
C	DANIDA Mission Evaluation Report, February 1988	Information
D	Calma Reports	Information
E	DK 1M Loan from DANIDA	Approval
F	Equipment at OTSI	Decision
G	Case of Anthony Sarangay	Decision
H	Apprenticeship Program	Approval
I	NMP Organizational Structure/ Personnel Profile	Approval/Information
J	Other Matters	
K	Adjournment	

A G E N D A

Meeting of the Board of Trustees National Maritime Polytechnic

DATE : 12 May 1988, Thursday
TIME : 12:00 noon
PLACE : Jorama Restaurant, San Marcelino Street

ITEM	SUBJECT MATTER
A	I. Call to Order II. Determination of Quorum III. Reading and Approval of the Minutes of the Board Meeting dated 21 January 1988 IV. Business Arising from the Minutes
B	Oath Taking of New Board Member
C	I. Designation of VP, Maritime Training II. Report of Enrolment III. Programs and Projects IV. Account at Helsingor Shipyard V. Maritime Training Needs Survey VI. Reaction Paper to Maritime Industry Commission Act of 1988
D	Others
E	Board Resolutions
F	Adjournment

A G E N D A

Meeting of the Board of Trustees
National Maritime Polytechnic

DATE : 10 March 1988, Thursday
TIME : 12:00 noon
PLACE : Jorama Restaurant, Marcelino St.

ITEM	SUBJECT MATTER
A	I. Call to Order
	II. Determination of Quorum
	III. Reading and Approval of the Minutes of the Board Meeting dated 21 January 1988
	IV. Business Arising from the Minutes
B	Oath Taking of New Board Members
C	I. Calma Audit Report
	II. Time Charter of MS Filipinas
D	Board Resolutions
E	Adjournment

A G E N D A
Meeting of the Board of Trustees
National Maritime Polytechnic

DATE: : 21 January 1988, Thursday
TIME : 12:00 noon
PLACE : Jorama Restaurant, San Marcelino St., Malate

ITEM	SUBJECT MATTER
A	I. Call to Order II. Determination of Quorum III. Reading and Approval of the Minutes of the Board Meeting dated 11 December 1987 IV. Business Arising from the Minutes
B	Oath Taking of New Board Members
C	I. NMP Cases Being Endorsed to OSG II. Management Contract between NMP and NMF III. Calma Audit Report
D	Adjournment

A G E N D A

Meeting of the Board of Trustees
National Maritime Polytechnic

DATE : 11 December 1987
TIME : 12:00 noon
PLACE : Seamen's Center, Intramuros

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
A	I. Call to Order II. Determination of Quorum III. Reading and Approval of the Minutes of the Board Meeting dated 2 November 1987 IV. Business Arising from the Minutes	
B	Oath Taking of New Board Members	
C	Annual Report	
D	Committee Reports I. Discontinuance of Supervised Training Centers II. Theory in Manila, Practicum in Tacloban	Approval Approval
E	NMP Assets and Accountabilities	Information
F	Spare Parts for Equipment Specifications and Costings	Information
G	Infrastructure Development	Information
H	NMP Audit I. COA Audit Report for 1985 II. Credentials of Calma and Associates	Information Approval
I	NMP-NMF Relationship; Details of MSF Operations	Information
J	Other Matters Creation of National Maritime Polytechnic Admin.	Information
K	Adjournment	

A G E N D A
Regular Meeting of Board of Trustees
National Maritime Polytechnic

DATE : 10 February 1987
TIME : 11:30 a.m.
PLACE : Crimson Room, Army-Navy Club, Manila

ITEM :	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
A	Minutes of the Special Board Meeting 18 Dec. 1986	Approval
B	Matters Arising Out of the Minutes	Discussion
C	NMP Approved Budget for 1987	Information
D	Schedule of Maintenance of Equipment/Simulators and Buildings	Information
E	JICA Scholars' Report on Training in Japan	Information
F	Other Matters	
	1. PAMI Convention Results with Regards Areas of Cooperation with NMP	
	2. Status of Proposal to Create a Committee to Study the Standard Quality of Maritime Education	



REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC

Suite 503 Dña. Felisa Syjuco Bldg.
Taft Avenue cor. Remedios Street
Malate, Manila
Tels. 50-12-61 to 69 Loc. 16
Tlx. 41181 MARTEK PM

A G E N D A

19th Meeting of the Board of Trustees
National Maritime Polytechnic

DATE : 13 November 1986
TIME : 12:00 noon
PLACE : Dewey Room, Army-Navy Club

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
	Oath Taking of New Members	
A	Minutes of the 18th Board Meeting.	Approved
B	Matters Arising Out of the Minutes	Discussion
C	New Appointments	Approved
D	Report of the Joint NMP-JICA Technical Committee Meeting	Information
E	Report on the Visit of the JICA Consultation Team, 3-11 September 1986	Information
F	Marketing Programs/Strategies	Information
G	Letter of Complaint of Ms. Bulawan, et.al.	Discussion
H	Other Matters	
I	Adjournment	

A G E N D A

18th Meeting of the Board of Trustees .
National Maritime Polytechnic

DATE : 18 August 1986
TIME : 12:00 noon
PLACE : Crimson Room, Army-Navy Club

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
	Oath Taking of New Member (Mr. Philip Tuazon)	
A	Minutes of the 17th Board Meeting	Approval
B	Report on the Opening of First Upgrading Courses	For Information
C	PMMA Cadets Onboard M/S Filipinas	For Information
D	JICA Counterpart Scholars	For Information
E	Five Year Development Plan	Approval
F	Other Matters	
G	Adjournment	

A G E N D A

(17th Meeting of the Board of Trustees)

DATE : 15 May 1986
TIME : 12:00 a.m.
PLACE : Crimson Room, Army-Navy Club

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
	Oath Taking of New Members	
A.	Approval of the Minutes of the Last Board Meeting held 19 February 1986	
	1. Matters Arising out of the Approved Minutes	
B.	Introduction of JICA and DANIDA Consultants	
C.	NMP Annual Report	For Information
D.	Five Year Development Plan	For Approval
E.	NMP Code	For Approval
F.	Status Report of Projects	For Information
	1. Training Programs	
	2. Furnishing Training & Admin buildings and Landscaping of surroundings	
	3. Turn-over Ceremonies	
G.	Other Matters	
H.	Adjournment	

A G E N D A
(16th Meeting of the Board of Trustees)

DATE : 19 February 1986
 TIME : 12:00 p.m.
 PLACE : Crimson Room, Army-Navy Club

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
A	Oath Taking of New Board Members 1. Mr. Benjamin Leong NEDA Region 8 2. Mr. Abraham F. Estrella PAMI 3. Commo. Liberato L. Lazo PCG	
B	Minutes of Last Meeting	For Approval
C	Progress Reports of JICA Projects Phase I and II 1. Arrival of Japanese Experts	For Information
D	Resignation of Capt. Santiago E. Torres; Appointment of Capt. Antonio E. Subijano as VP, Maritime Training	For Approval
E	Construction of Officers Dormitory	For Approval
F	47 Apprentices Train Onboard N/S Filipinas	For Information
G	Memorandum of Agreement (NHP-NMF) 1. Articles of Incorporation 2. Explanation of Accrued Taxes and Expenses for 1983 3. Financial Statement for 1984	For Information
H	Five Year Development Plan	For Approval
I	Other Matters	

A G E N D A

(15th Meeting of the Board of Trustees)

DATE : 7 October 1985

TIME : 12:00 noon

PLACE : Crimson Room, Army-Navy Club

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
A	Minutes of Last Meeting	For Approval
B	NMP/NMF/MS Filipinas	For Information
C	Five Year Development Plan (Distributed in previous meeting)	For Approval
D	Other Matters	

A G E N D A
(14th Meeting of the Board of Trustees)

DATE : 23 August 1985

TIME : 8:00 a.m.

PLACE : Crimson Room, Army-Navy Club

ITEM	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
A	Minutes of Last Meeting	For Approval
B	JICA Technical Cooperation and Assistance	For Information
C	Philippine Counterpart (JICA Scholars)	For Information
D	Turnover of Dormitory of Ratings	For Information
E	Profile of the Filipino Seaman (Phase I)	For Information
F	Five Year Development Plan	For approval
G	Other Matters	

NOTICE OF THE 12TH NMP BOARD MEETING

Date: 22 April 1985

Time: 12:00 a.m.

Venue: Army Navy Club

AGENDA OF THE MEETING

1. Calling of the Meeting to Order
2. Reading and Approval of the Previous Meeting
3. New Business
 - a. Recommendation of the NMP President for the Appointment of Capt. Hermenegildo T. Domingo as EVP
 - b. Summary of NMP Resolutions
 - c. Inauguration and Acceptance of the New Ratings Dormitory
 - d. Printed Annual Report
 - e. Slide Presentation on the Construction in NMP Tacloban
 - f. Diving Project
4. Other Matters



REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC

Suite 503 Dña. Felisa Syjuco Bldg.
Taft Avenue cor. Remedios Street
Malate, Manila
Tels. 50-12-61 to 69 Loc. 16
Tlx. 41181 MARTEK PM

NOTICE OF THE 8TH NMP BOARD MEETING

Date : 23 April 1984
Time : 8:00 AM
Place : Crimson Room, Army & Navy Club
Roxas Boulevard, Manila

AGENDA OF THE MEETING

1. Oath taking of PAMI President, Capt. Jaime C. Jimenez and Actg. Regional Executive Director, NEDA Region VIII Hon., Venancio S. Baclagon
2. Reading and approval of the minutes of the last meeting
3. President's Report
4. Other Matters

NOTICE OF THE 7TH NMP BOARD MEETING

Date : 26 November 1982
Time : 7:30 a.m. (breakfast)
Place : Executive Room No. 1
Meralco Lighthouse, Ortigas Avenue
Pasig, Manila

AGENDA OF THE MEETING

- I. Oath-taking of Capt. Victorino A. Basco
Administrator, Maritime Industry Authority
- II. Reading and approval of the minutes of the
last meeting
- III. Progress Report of the NMP President
- IV. Approval of the NMP Resolutions
- V. Other Matters



REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC COLLEGE

5TH MEETING OF THE BOARD OF TRUSTEES
OF THE NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC
TO BE HELD AT THE BOARD ROOM, ARMY & NAVY CLUB OF MANILA
ON THURSDAY, MARCH 13, 1980 AT 12:00 NOON

A G E N D A

Part I

1. Visual presentation of Elsinore training/cargo vessel by Mr. Ulf Nielsen

Part II

INDEX

1. Oath taking of Col. Tanseco & Atty. Alterado
2. Reading & approval of the minutes of the previous meeting A
3. 1979 Accomplishment Report & 1980 Work Plan by NMP Actg. President, Capt. Benjamin M. Tanedo B
4. Acquisition of training/cargo vessel C
5. SGV consultancy services D
6. Other matters

OTHER APPENDICES

1. Pro Forma Memo of Agreement for Radar Observers Course E

Republic of the Philippines
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC COLLEGE
M a n i l a'

THE 4TH
NOTICE OF/ NMPC BOARD MEETING
(Series of 1979)

Date : Oct. 2, 1979
12 noon

Place : Crimson Room
Army & Navy Club
of Manila

AGENDA OF THE MEETING

1. Oath taking
 2. Approval of the minutes of the previous meeting
 3. Progress Report of Capt. Tañedo
 4. Other matters
-

ATTACHMENTS

- "A" MINUTES
- "B" PROGRESS REPORT
- "C" QUOTATION ON THE REPAIR OF MARSMAN BUILDING
- "D" ROC STUDY

Republic of the Philippines
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC COLLEGE
M a n i l a

NOTICE OF NMPC BOARD MEETING

Date : 3 Aug. 1979
4 pm

Place : Crimson Room
Army & Navy Club
of Manila

AGENDA OF THE MEETING

1. Oath taking
 2. Approval of the Minutes of the previous meeting
 3. Progress Report of Capt. Tañedo
 4. Other matters
-

ATTACHMENTS

- "A" MINUTES
- "B" PROGRESS REPORT
- "C" P4M NMPC budget for 1980
- "D" ILO/NORWAY project
- "E" Elsinor proposal
- "F" Proposed curriculum for:
1. 3-day Fire-fighting
 2. 82-hour Radar Observer's Course
 3. 2-month Able Seaman Course
 4. 2-month 3rd Mate Upgrading Course
 5. 2-month 2nd Mate Upgrading Course
 6. 2-month Chief Mate Upgrading Course
 7. 2-month Master Mariner Upgrading Course
 8. 2-month 4th Engineer Upgrading Course
 9. 2-month 3rd Engineer Upgrading Course
- "G" Reply to Memo of Presidential Exec. Assistant Clave directing the PN to undertake the function and responsibility of training Filipino seamen
- "H" Letter of Exec. Director Rogelio L. Luis, Presidential Management Staff, directing that a study be made on the training for seamen to build a reserve force under the auspices of the PN.

Republic of the Philippines
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC COLLEGE
M a n i l a

A G E N D A

1. Oath taking by members who have not yet taken their oath of office by the Chairman;
2. Approval of the minutes of the previous meeting;
3. Progress Report of the Officer-in-Charge;
4. Other matters.

April 27, 1979 - 2:00 PM - Holiday Inn.

A G E N D A

Special Meeting of the Board of Trustees
NATIONAL MARITIME POLYTECHNIC

DATE : 13 April 1989
TIME : 10:00 A.M.
VENUE : Bougainvillea Function Room
Manila Garden Hotel

ITEM :	SUBJECT MATTER	ACTION REQUESTED
A	Call to Order	
B	Determination of Quorum	
C	Exigency for the Extension of JICA-NMP Technical Cooperation Program	For Discussion
	1. Tabular Presentation of JICA-NMP Commitment and Accomplishments/Constraints	
	2. Proposed Priority Courses	
	3. Budget Releases/Proposed for Capital Outlays Under FAP's	
D	Proposed Ammendments to the Record of Discussion signed on June 13, 1985	For Discussion
E	Other Matters	
	1. STCW endorsement	For Discussion

THE EXIGENCY FOR THE EXTENSION OF
JICA-NMP TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

- I. Rationale
- II. Statement of Facts
- III. Implications
- IV. Recommendations

* Exhibit I - Tabular Presentation of JICA-NMP
Commitments and Accomplishments/
Constraints

* Exhibit II - Organization Chart of the JICA-
NMP Project

* Exhibit III - Focus of Extension

Annex A - Justification for New Courses at NMP

Annex B - List of Priority Courses and
Corresponding Equipment

Annex C - Syllabi for Priority Courses

1. Electronic Navigation System
(Global Positioning System)
2. International Rules of the Road
3. Radiotelephony
4. Marine Electronics
5. Safety in Dry Cargo Ship Carrying
Dangerous and Hazardous Cargo
6. Crude Oil Washing (COW) and Inert
Gas System (Tanker Operation Course)

THE EXIGENCY FOR THE EXTENSION OF
JICA - NMP TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

I. RATIONALE

The technical cooperation program between the JICA (Japan International Cooperation Agency) and the National Maritime Polytechnic has effected to a significant extent, the latter's expansion, modernization and technology orientation/transfer. However, commitments agreed upon by both governments, as outlined in the Records of Discussion signed on June 13, 1985 have not been fulfilled at par. The Filipino counterparts, due to some constraints, had a lag in their projected undertakings. On the other hand, Japanese counterparts showed remarkable accomplishment.

Fortunately, with the release and approval of P 42,000,000 to speed up site and infrastructure development within 1989, shortfall in the Philippine fulfillment may soon be remedied. Also foreseen is an uptrend in providing counterpart technical experts to meet the enrollment boom for this year. Ironically, it is against this backdrop of improvements at the Polytechnic that the terms of agreements between the two countries expire in June 1989. It becomes clear therefore, that the four-year duration of the technical cooperation is not enough to actualize the terms and scope specified in the Records of Discussion. Thus, an extension of the JICA-NMP Project is apparently exigent to bring forth the joint intentions of both parties.

II. STATEMENT OF FACTS

1. As presented in Exhibit I, parallel accomplishment by both governments has not been realized, the Philippine side marking delayed fulfillment. In sum, provision for counterpart personnel, and ~~some aspects of counterpart funding for capital~~ outlay are met with financial constraints. However, the increase in the number of graduates and government funding shows that Philippine Government is fast catching up with the actualization of its commitments and satisfying specific requests made by the Japanese Mutual Consultation Team in October 1987.

While it is true that technology transfer during the cooperation period has been generally successful, the Tanker Operation Course, in particular, was marred by faculty turnover. Moreover, the prevailing conditions in the Maritime Industry necessitate technology transfer in other courses - deck, engine, and specialized courses (Annexes A&B). Consequently, these courses entail appropriate equipment and corresponding training/scholarship.

2. At no other time in Philippine maritime history has there been sensationalized public clamor, congressional debates, and media reviews/critiques on the urgency for upgrading/re-training/updating the Filipino seamen. The Polytechnic, being the prime maritime training institution in the country, is in such a challenging role nowadays that pulling out of JICA experts from Training Complex is not attuned to such scenario.

3. The requirements of STCW Convention (1978) are mandatory starting May 1989 after a five-year moratorium from date of ratification by the Philippine Government. With the expected full swing of enrollees, attainment of objectives for which the JICA-NMP Project was intended will be more fulfilling to both governments.
4. The fast turnover of Training Staff due to uncompetitive remuneration and their desire for professional growth, calls for salary scale upgrading and in-house training/refreshers among the newly hired. In fact, in October 1987, the Japanese Mutual Consultation Survey Team requested NMP to continue its efforts to attain a salary scale competitive with shipboard pay. Also, an immediate recruitment of qualified personnel was requested by Team.
5. The principle of evaluation dictates that success or failure of an undertaking is gauged by the extent of achievement of the objectives earlier targetted. More often than not, presence of growing constraints necessitates flexibility of implementation, hence the use of rolling plans in response to intervening priorities. In the case of NMP Training Complex, its financial handicap during the early years of the technical cooperation program caused the delay in actualizing Philippine commitments. Following the principle of evaluation, an assessment of JICA-NMP Project becomes valid if consideration for the causes of shortfall in accomplishment will give way to flexibility of timeframe.

in detail